会長のページ　選挙・選抜 …… 河野　雅行　3
日州医談　認知症疾患医療センターの取組みと利用について … 吉見　雅博　4
警察活動協力医部会の発足について
－死因究明を支え，県民の安心につなげるために－ … 玉置　昇　6
随　筆　なぜ，皮膚科を選んだ？ …… 北村　豪　8
登山と筋疲労 …… 髙崎　眞弓　10
初夏のヴェネツィア旅行記－近代医学の基盤－ …… 濵川　俊朗　12
高校野球大好きドクターVol.５～西日本編～ …… 山田　琢也　14
水というもの …… 谷口　二郎　16
門川神社大祭 …… 石橋　俊秀　18
エコー・リレー（615）…… 海老原　尚，古田　賢　21
メディアの目　AIにどこまで任せるか …… 児玉泰一郎　22
身近なお困りごと相談室 …… 高山　桂　23
私の本　ぶどう膜アトラス …… 杉田　新　24
国公立病院だより　宮崎市総合発達支援センターおおぞら …… 麻田　智子　34
宮崎大学医学部だより　機能制御学講座－統合生理学分野－ … 高宮　孝悟　36
専門分科医会だより　整形外科医会 …… 黒木　隆男　37
診療メモ　肝臓疾患の最近のトピックス
～代謝障害関連脂肪肝炎（MASH）に対するセマグルチド治療について～ … 永田　賢治　68
宮大医学部学生のページ　学祭の季節がやってきました！ …… 嶋田　剣吾　70

あなたできますか？（令和７年度医師国家試験問題より）…… 20
宮崎県感染症発生動向 …… 26
日赤だより …… 29
各郡市医師会だより（南那珂医師会，西諸医師会）…… 30
各種委員会（医学会誌編集委員会）…… 38
ベストセラー …… 38
各種委員会（健康スポーツ医学委員会）…… 39
各種委員会（健康教育委員会）…… 40
日医インターネットニュースから …… 42
医師協同組合だより …… 44
会員の異動・変更報告 …… 46
理事会日誌 …… 48
県医の動き …… 52
ドクターバンク情報 …… 53
行事予定 …… 57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 …… 59
あとがき …… 78

お知らせ　宮崎県医師会メーリングリストのご案内 …… 17
第32回日本医学会総会 …… 25
「新春随想」原稿募集 …… 41
日医ペイハラ・ネット相談窓口を開設しました！ …… 45
医師年金ご加入のおすすめ …… 67
郡市医師会への送付文書 …… 72
医療勤務環境改善支援センター …… 76
日州医事原稿募集のお知らせ …… 77

日州醫事

令和８年11月10日 発行 （毎月10日発行）

No. 927



宮崎県医師会

2026 11

医師の心得

1．私たちは，皆さまの
健康状態をよくお聞きします。

2．私たちは，皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。

3．私たちは，皆さまに
医療内容をよく説明し，一緒に医療を行います。

4．私たちは，皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。

5．私たちは，皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人　宮崎県医師会

（平成 14 年 3 月 12 日制定）

〔表紙作品：写真〕

ゴンドラから望むリアルト橋

初夏の大運河を進むゴンドラから，ヴェネツィアの象徴であるリアルト橋を捉えた一枚です。かつて1000年にわたり繁栄したこの海上都市は，情報の標準化や公衆衛生の行政化など，近代医学の基盤を育みました。今号に掲載される随筆では，美しい水都の情景とともに，医学が科学へと変貌を遂げた歴史的必然性を紐解きます。

宮崎市　濵川俊朗（はまかわとしろう）

会長のページ

選挙・選抜

河野雅行（かわの まさゆき）



現代社会においては幼児期から選挙・選抜の洗礼を受けなければなりません。例えば小学校から高校までは学級委員や生徒会の役員選挙などがあります。高校や大学，今では中学以前の小学校・幼稚園まで入試選抜があります。就職にも選抜があります。仕事のうえでもスポーツやさまざまな競技会でも選抜があり，よき伴侶を得るにも相手から選抜されます。医師会でも役員選挙があります。一生を通じて人はそれぞれの場面や立場で，待ち構えているさまざまな選挙・選抜を潜り抜けなければなりません。

自分が対象になる選挙や選抜は大きなストレスになります。しかし自分に関係なく野次馬根性で見ている分には，不謹慎ながらも映画やドラマよりも面白いようです。大学時代，国政選挙や地方選挙のたびに授業を放り出して，支援候補の選挙事務所に入り浸っていた同級生がいました。彼に言わせると「選挙ほど面白いものはない。選挙になるとじっとしておられない」と候補者よりも熱を上げていました。当然ながら単位を落として後々苦労したようです。田舎の選挙では知人ばかりの狭い社会であり，人間関係が複雑で地域を分断するような結果になることもしばしば仄聞（そくぶん）します。一方，「一度も選挙に行ったことがない」と豪語する大人がいました。今の皆選挙権を得る歴史には相当の苦難がありました。古代ギリシャでは国を守ることのできる壮丁男子のみに選挙権が与えられ，我が国でも明治時代は一定の義務を果たした者（税金完納）のみに与えられる制限選挙でした。時代が下ってさまざまな苦労の末に婦人にも選挙権が与えられ，現在我が国での成人は全員有権者で，年限も繰り下げて18歳から可能です。そのように苦労して得た選挙権であるのに，多くの選挙での投票率は目を覆うばかりの低さで60％を超えればよい方です。「棄権するのも意思表示だ」などとおかしな発言をする人もいます。半数の有権者にとって選挙権は不要なのでしょうか。選挙によっては40％以下の場合もあります。この低い投票率から皆選挙権の意義に疑問を唱える意見もあるようです。

おりしも我が県では知事選挙が12月27日に予定されています。来年は統一地方選で県議会選挙や市町村議会選挙が予定されています。年間を通じてさまざまなんらかの選挙があります。だいぶ緩和されて期日前投票が可能となり，場所も自宅近くに設置されますので昼休みにでも行けるし便利です。一般県民が政治に直接参加できるのは選挙でしかありません。せっかくの権利を有効に活用したいものです。民主主義の基本である選挙に対してしっかりした教育を子どものころから始める必要があるのではないでしょうか。選挙や選抜は個々の意思に関わらず，一生を通じて避け得られないようです。

（令和８年10月19日）

日州医談



認知症疾患医療センターの取組みと利用について

宮崎県医師会 常任理事　吉見雅博（よしみまさひろ）

高齢化の進行とともに，認知症患者の増加が見込まれることから，地域における認知症疾患に関する保健医療水準の向上を図ることが重要な課題となっています。

このため，県では６か所の医療機関を認知症疾患医療センターに指定し（表），地域における認知症専門医療の提供体制の充実強化を図っています。

センターの主な業務は以下のとおりです。

１）認知症の診断や精神病状への対応などの専門医療の提供
２）早期発見のために欠かせないかかりつけ医などに対する研修
３）地域包括支援センター・介護サービス提供者などとの連携
４）認知症に関する医療相談

今後も，かかりつけ医からセンターへ相談・紹介する機会や，患者さんやご家族，ケアマネジャー，地域包括支援センターなどからの相談も増えていくことが予想されます。

そこで，各認知症疾患医療センターのご協力のもと，センター利用に際しての疑問や相談内容について，Q&A形式でまとめました。

ぜひ，日頃の診療やご相談の際に，お役立ていただければ幸いです。

この他に疑問やご意見などがございましたら，県医師会へお寄せください。

Ｑ１．かかりつけ医から各センターへの予約は，どのような流れになりますか？

Ａ．医療機関からご予約いただくこともありますが，ご家族からご予約いただくケースが一般的です。お電話では，お困りの症状や現在の生活状況をお尋ねするとともに，受診の日程調整を行います。また，受診当日の持参物（診療情報提供書やお薬手帳など）や注意点についてもご案内します。

Ｑ２．各センター指定の予約申込書や所定の様式などはありますか？

Ａ．センターによっては，所定の予約申込書や情報提供書などの提出が必要な場合があります。詳しくは，各センターへお問い合わせください。

Ｑ３．紹介時に診療情報提供書は必要ですか？必要な場合，どのような内容を記載すればよいですか？

Ａ．診療情報提供書は，原則として必要です。「現病歴」「既往歴」「服薬状況（処方内容）」「身体疾患の治療歴や合併症の有無」などをご記入ください。また，可能な範囲で，もの忘れ症状の経過や生活状況，MRI検査が可能な身体状況かどうか（手術歴など），過去の認知機能検査の結果などについてもご提供いただけますと，診療の参考になります。

Ｑ４．初診までの待機期間はどのくらいですか?

Ａ．おおむね２～４週間程度です。ただし，センターによっては１～２か月程度かかる場合もありますので，受診を希望される場合は，早めにご連絡ください。

Ｑ５．かかりつけ医から紹介する適切なタイミングはいつですか？

Ａ．かかりつけ医が専門的な診断や治療が必要と判断したときはもちろん，ご本人やご家族が「受診が必要」と感じたときも，紹介の目安となります。軽度認知障害（MCI）の段階から，認知症が進行した場合まで，どの段階でもご相談いただけますので，気になることがあればいつでもご相談ください。早い段階で相談することで，治療や今後の対応の選択肢が広がる可能性があります。

Ｑ６．紹介前に実施しておくべき検査や，共有すべきデータはありますか？

Ａ．認知症疾患医療センターへの紹介のためだけに，新たな検査を実施する必要はありません。ただし，過去に実施した検査の結果があれば，診療の参考になります。具体的には，直近の血液検査（甲状腺機能，ビタミン類など）の結果や，頭部画像（CT・MRI）などがあれば，ご提供ください。

Ｑ７．本人だけで受診することはできますか？

Ａ．ご本人のみでも受診することは可能です。ただし，以前の状態を知るご家族からの情報がない場合，検査結果を適切に評価し，今後の対応につなげることが難しくなる場合があります。そのため，可能であれば，ご家族にも同伴いただくことをお勧めします。

Ｑ８．患者さんやご家族の不安をやわらげるために，おすすめの声かけはありますか？

Ａ．ご本人が受診を拒否されたり，不安を感じていたりする場合には，健康診断の一環として提案することで，受診につながることがあります。例えば，以下のような声かけが考えられます。

・「もの忘れには，年齢によるものだけでなく，薬や体調の影響によるもの，認知症の初期症状として現れるものなど，さまざまな原因があります。一度，専門の先生に詳しく診てもらいましょう」
・「頭の健康診断を受けて，今の脳の状態を詳しく調べてみましょう」
・「少しお疲れのようですので，体調や睡眠のことも含めて，専門の先生に一度相談してみませんか」

また，ご家族も不安を抱えていることが考えられるため，その気持ちに寄り添った声かけをすることも大切です。

・「認知症と決まったわけではありません。治る認知症や，他の身体疾患によるもの忘れがないかを確認するための受診です」
・「診断を受けることで，今後の関わり方や利用できるサポートが明確になり，ご家族の負担軽減にもつながります」

表．認知症疾患医療センター

医療機関名	住　所	電話番号
一般財団法人弘潤会野崎病院	宮崎市大字恒久5567	0985-54-8123
一般社団法人藤元メディカルシステム大悟病院	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800
医療法人向洋会協和病院	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-5015
医療法人十善会県南病院	串間市大字西方3728番地	0987-72-3565
医療法人建悠会吉田病院	延岡市松原町４丁目8850番地	0982-37-0126
医療法人浩然会内村病院	小林市水流迫852番地１	0984-23-2575

日州医談



警察活動協力医部会の発足について
－死因究明を支え，県民の安心につなげるために－

宮崎県医師会 常任理事　玉置（たまき）　昇（のぼる）

はじめに

全国の死亡者数約160万人に対し，警察が取り扱う死体数は年々増加し，2025年度は過去最多の20万4,560人で，この傾向は2040年ごろまで続くと予測されています。特に犯罪死の見逃しを防ぐため，検視における医師の立ち会いは不可欠です。しかしながら，法医学教室の人員，検案を担う医師などの人材が不足しており，その体制整備が急務です。更にいつ起こるか分からない大規模災害（例：南海トラフ地震）に対する検案体制の構築が重要課題です。

宮崎県死因究明等推進地方協議会の発足

死因究明のためには精度の高い死体検案が必要で，検案と死因究明の体制強化がますます重要となります。しかしながら死因究明の中核を担う大学の法医学教室の人員は減少傾向で，今後の人材確保が必要です。こうした背景のもと2012年に「死因究明等の推進に関する法律」が成立し，2014年に政府は「死因究明等推進計画」を策定しました。死因究明等推進基本法では，地方公共団体は，死因究明などの施策の実施を推進し，その実施の状況を検証し評価するための死因究明等推進地方協議会を設置するよう努めることとされています。このような背景のもと，2022年より宮崎県にも同協議会が設置されました。

宮崎県警察医会の経緯

これまで，宮崎県医師会内には県内警察署の警察嘱託医・協力医を中心として，単独の（県医師会医学会に属さない）医会として1993年に宮崎県警察医会が発足しました。一方，2014年に「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」が設置され，２つの会が併存していました。県警察医会は会員医師20名と少数で，年１回の協議会と総会・講演会を開催していましたが会員数減少と高齢化により存続が厳しい状況です。県医師会でも年１回の死体検案研修会を開催しています。ただ「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」には133名の医師が登録していますがこれまで特に活動はありません。今後の警察活動協力体制充実のため宮崎県医師会内部に新たな部会の設立が必要となりました。

日本医師会の動き

かつて国内唯一の警察医の全国組織であった日本警察医会は会員数が少なく，若手の後継者不足や待遇面などに課題があり，大規模災害時の派遣体制づくりの側面からも確実な組織化が必要とされたため，同会は発展的に解消し，日医がその代わりとなる新たな全国組織として警察に協力するための「連絡協議会」を内部組織として設け，都道府県医師会と連携して検案業務に関する人材の確保や能力向上，大規模災害時の迅速な検案活動の実施を進めることになりました。

警察活動協力医部会の発足

宮崎県医師会の令和８年度事業計画には，「警察活動協力医部会の発足と活動促進」が掲げられています。警察活動に協力する医師の役割を共有し，日頃の検案業務から大規模災害時の対応まで，地域全体で支える仕組みを整えることは重要な課題です。本部会の発足が，これまで現場を支えてこられた先生方の経験を次

の世代へつなぎ，持続可能な協力体制を築く契機となることが期待されます。医師の使命は，病気を診断し，治療を行い，生命を守ることです。同時に，亡くなられた方の最期に向き合い，その死を医学的に評価することも，医療者が担う重要な役割です。死因究明は，犯罪の見逃しを防ぐだけでなく，ご遺族の疑問に応え，故人の尊厳を守ることにつながります。また，死亡に至った背景を明らかにすることは，事故の再発防止や疾病予防など，生きている人々を守る取組みにも結び付きます。一人ひとりの死に丁寧に向き合う姿勢が，地域社会の安心の基盤となります。

警察活動協力医部会の役割

高齢化が進み生活背景のはっきりしない独居の方の死亡に接する機会が増えています。発見までの経過や既往歴が分からず，判断に苦慮する場合もあります。こうした場面で，検案に当たる医師が一人で悩みを抱えず，相談したり支援を受けられる仕組みが必要です。経験豊富な医師と，これから協力を始める医師とを結ぶことは，本部会に期待される大きな役割の一つです。

今後の活動の第一の柱は，研修の充実です。検案に必要な基本的知識，ご遺体の所見の取り方，死亡状況や診療情報の確認，死体検案書の適切な記載など，実務に即した内容を継続して学べる機会が求められます。講義だけでなく，匿名化した事例の検討や，経験者の判断過程を共有する場も有意義と考えます。参加者が疑問を率直に出し合える雰囲気をつくり，経験の差を越えて学び合うことが，検案の質の向上につながります。法医学の専門家との連携を深め，日常診療で培った臨床的な視点を生かしながら，適切な死因究明につなげる体制を考えていく必要があります。

第二の柱は，協力する医師の裾野を広げることです。関心はあっても，経験の不足や業務への不安から参加をためらう先生方もおられると思います。最初から単独での対応を求めるのではなく，基礎研修，見学，経験者とともに行う実務など，段階的に学べる道筋があれば，参加への心理的な負担感を軽減できます。開業医，勤務医を問わず，それぞれの勤務状況や専門性に応じた関わり方を検討し，多くの医師が無理なく参加できる組織を目指すことが望まれます。

第三の柱は，大規模災害への備えです。南海トラフ地震などを念頭に置けば，平時の協力体制をどのようにつなぐかは，本県にとって避けて通れない課題です。救命救急や避難所での医療と並行して，検案や身元確認に関わる対応が必要となります。県医師会，郡市医師会，警察，行政，大学，歯科医師会などが，平時から役割と連絡系統を確認しておくことが求められます。医師自身や家族，勤務先が被災する可能性もふまえ，県内の相互応援に加えて，県外からの支援を受け入れる視点も大切です。平時からの顔の見える関係が，非常時の円滑な連携を支えます。

また，すべての活動の根底には，ご遺体への敬意と，ご遺族への配慮がなければなりません。突然の別れに直面されたご家族に対し，説明できることを丁寧に伝え，不確かな点はそのまま誠実に説明する姿勢が求められます。個人情報の適切な管理とともに，医師としての専門的判断と倫理を大切にし，関係機関との相互理解を深めることが重要です。本部会には，現場で生じる困り事を集め，改善につなげる役割も期待されます。

おわりに

これまで警察活動への医療協力に尽力してこられた先生方と関係者の皆様に，深く敬意を表します。その歩みを受け継ぎ，新たな担い手とともに発展させていくことは，地域医療を担う私たちの責務です。宮崎県医師会警察活動協力医部会が，医師同士を結び，医療と警察・行政をつなぐ場となり，故人の尊厳と県民の安心を支える活動へと育つことを願ってやみません。多くの先生方が本会の趣旨に賛同をいただき，入会につなげていただきますことを心よりお願い申し上げます。

※入会案内・申込書を本号に同封しております。

随　筆

なぜ，皮膚科を選んだ？

都城市 きたむら皮膚科クリニック　北村（きたむら）　豪（たけし）

皮膚科医になって39年，開業して25年になりますが，今でも時々尋ねられます。もう時効だから白状しますけど，私，もともとは内科医になるつもりでした。

宮崎医科大学内分泌内科

私は宮崎医科大学の卒業ですが，同大学の第三内科（内分泌・神経内科）は当時の人気講座で，私も大学４年生のころからそこに出入りしていて，夜の飲食店に連れて行ってもらったりとか，糖尿病の子どもたちのサマーキャンプについて行ったりとかが楽しくて，第三内科に入るとほとんど決めていました。

ところが，あるとき，頼りにしていた先生から呼び出され，「今度，他所から新しい教授が来る。僕も多分，大学を辞める。もう君の面倒を見てあげることもできないね。ウチには来ない方がいいよ」と告げられました。

えーっ，どうしよう。

チャラ医大生は，それなりに悩んだ

実家の事情で宮崎に残ることは決まっていたので，ポリクリや講義で印象に残っていた所から再検討しました。内科を中心に考えていましたが，初代皮膚科教授の井上勝平先生が，学生講義で「皮膚を詳細に観察，分析すれば，内臓のことはなんでも分かる」みたいな話をされていて，これは面白そうだなと。

ただ，問題がありました。学生の間では「皮膚科は稼ぎが悪いので，若いころは，親に仕送りしてもらうか，奥さんに食わせてもらう必要あり」というウワサがあったのですね。父は内科医で，私の皮膚科入りに反対でしたし，食わせてくれる奥さんや彼女さんもいませんでしたから，これは大問題です。

それと，宮崎市内の安アパートから，親に買ってもらった日産サニーで通学していましたが，そのサニーが壊れかかっていて，カローラでもサニーでもいいんですけど，近いうちに買い替える必要もありました。

そこで，皮膚科主催の学生勧誘会に参加してリサーチすることにしました。夜の街での飲食を伴った会で，お酒を飲まされて気が大きくなって，怒られるかなと思いつつ聞いてみました。「先生，クルマくらい買えるんですよね？」。

そうしたら，「おう，心配するな，大丈夫！」とのご返事。普通，ここは一度持ち帰ってよく考えるべきなのですが，酔った勢いもあって，「ああよかった，それではお世話になります！」と即答しました。

これで，めでたく皮膚科入局が決定したわけですが，こうして文章にすると，成り行きでテキトーに決めた当時の様子が，かなり恥ずかしいです。

クルマは買えた

医者になって３年目か４年目に日産シルビア

を買いました。見かけ優先，そこそこ速くて，多分女の子にモテる，みたいなクルマでした。サニーよりも車格（お値段も）２ランクアップですが，頑張りました。

病棟で受け持った小学生患児のお父さんが日産のディーラーさんで，そこでお世話になりました。ローン申し込み書類には年収を書く欄がありますけど，当時の年収は200万円くらいで，審査に通るか心配しました。

そうしたら，患児のお父さんが記載年収を指さして言いました。「先生，ウソ書いたらダメですよ」。

？？

パパさんは続けて「北村さんが朝から晩まで働いているのを私は見ていたし，そもそも大学病院のお医者さんがこんな安月給のはずないでしょ」。

！！！

「本当なんですよ」。

「意外だなー，大学の先生も大変ですね」。

ローンの審査は無事通りました。

「結果，皮膚科に入ってよかった？」

まあ，よかったですよ。皮膚科病棟で一番美人の看護師さんをゲットできたし。

だけど，浮気心が芽生えたこともありました。医者５年目のときに，沖縄県立中部病院での麻酔科，救急科研修に出してもらったのですが，日曜日が完全フリーの生活は初めてで（麻酔科では３回に１回は当直でしたけど），しかも南国沖縄です。数か月前に結婚したばかりでしたから，新婚旅行の延長みたいな感じで，とても楽しかったですね。

中部病院には全国から若い優秀な医者がたくさん来ていました。彼らと仕事をしたり話したりしているうちに，やっぱり内科の方が面白そうだ，という気持ちが再発して，奥さんの同意も取り付けて，〇〇医科大学総合内科へ移る準備を始めました。

研修を終えて大学に戻ると，すぐに宮崎県立延岡病院皮膚科への出向を命じられました。延岡が楽しかったのと，このタイミングで子どもを授かりまして，小さな子ども連れで研修医からの再スタートはリスキーか？となって，皮膚科を続ける決心をしました。

その後は，大学病院の皮膚科外来医長，皮膚科病棟医長，沖縄県立中部病院の皮膚科医長などを務めさせてもらい，2001年に独立，開業して，現在に至っています。この間は，その時々の立場相応，年齢相応の仕事をした（している）だけで，ここで書けるような面白い話は思い付きません。

恩師の井上勝平先生から「皮膚を通して全身を診る」と教育されましたから，それを心掛けてはいますが，ちゃんと実行できているかどうかは分かりません。

一隅を照らす

好きな言葉です。アフガニスタンで亡くなった中村哲先生の本に，「一つの片隅を照らすだけで充分なわけで，（自分が正しいと思う光で）世界中を照らそうとしたら，街に爆弾落として更地にするしかないです」という解説がありました。私はガザの惨状を見るたびに，中村先生の解説を思い出します。シオニズム思想は理解できるのですが，手段が激し過ぎると言うか，パレスチナ人の側にも言い分はあります。

トシを取ると，自分の考えを周囲に押し付ける傾向が出ますので，私も気を付けたいです。



随　筆

登山と筋疲労

宮崎市　髙崎眞弓（たかさきまゆみ）

坊がつるキャンプ

「今年も行けるかな」と思案しながら，押し入れからテント，エアマット，シュラフ，クッカーなどを取り出した。夏の年中行事になっている「坊がつるキャンプ」の準備である。あの「坊がつる讃歌」で有名になった久住の山中にある湿原・坊がつるで，１泊または２泊するキャンプだ。坊がつるは標高1,230mにあるので，夏でも涼しい。そこで椅子にもたれて文庫本を読むのは快適だ。

80代も半ばになり，キャンプ道具と食料を入れた10kgを超えるバックパックを背負って上がれるかが不安なのだ。だが，行ってみたい。最後になるかもしれないから，ぜひ行ってみたい。体調も悪くないので，行くことにした。車で宮崎を出て，午後２時ごろ吉部登山口に着く。気温は30℃を超え，33℃くらいである。雨中の山行は楽しくないので，晴れた日を選ぶとまことに暑い。

若いとき子どもたちを連れて富士山に登ったことはあるが，頻繁に山行を企てるようになったのは，定年になる65歳になってからである。でも，かれこれ20年になる。当初は等高線の地図が読めなくて苦戦したが，今は携帯電話が道案内してくれる時代だ。天候のよいときに，ひょいと一人で出掛ける。よく道に迷うが，携帯電話の画面が正しい道を教えてくれる。

久住周回

熱中症にならないように，ゆっくりゆっくり上がったら，１時間半のところを２時間もかかった。平日なのでテントの数はわずかだ。平らな場所を選んでテントを設営し，食事の準備を始めたら，長いこと使ってきた日本製ガスバーナーの点火装置が故障している。やれやれ煮炊きができない。この夜は酒とつまみ，それに水を入れて１時間でできあがるチャーハンで我慢した。

翌朝は４時半に起床，太陽はまだ出ていないが，自然の中で夜明けを体感する。すがすがしいとは，このことか。でも，あまりのんびりしていられない。パンなどを食べて腹ごしらえをし，ハイドレーションバッグに１Ｌほど水を入れ，300gのアクエリアスと一緒にナップサックに入れ，５時半に出発。露が付く下草でズボンの裾を濡らしながら，法華院温泉から北千里浜，久住分かれを経て1,791mの中岳へ，その後は1,720mの白口岳を経由して鉾立峠へ下り，10時に坊がつるに戻った。中岳の山頂には夏休み中の学生がいたが，それ以外のコース上で出会ったのは，逆回りで鉾立峠から上がってきた勇ましい中年の女性一人だけである。法華院温泉に泊まっていたようで，見るからに都会風の装いであった。

朝露でびっしょり濡れていたテントは，数時

間ですっかり乾いている。ゆっくり昼食を取り，テントをたたんで吉部登山口へ下山した。復路は食料がなくなりバックパックは少しばかり軽くなったし，ほとんどが下りなので転ばないように気をつけるだけだ。

連日の山行

この日は長者原付近のホテルに泊まり，脚の具合もよいので，更に翌日も登山を試みることにした。暑さを避けるため６時半に牧ノ戸峠から1,787mの久住山を目指した。途中にある星生山からの眺めが素晴らしいので，寄るつもりで歩いていたのだが，登山口を見逃して通り過ぎてしまった。それで２時間弱で久住山へ着いた。ここは久住の主峰だけあって，平日でも人が多い。夏休み中だから，半袖に短パンの若者が結構いる。皆日焼けなどしていない。ここは鹿や猪が少ないから，あまりダニの心配はしなくていいが，他の山なら危ないなーと余計な心配をする。

久住山には他のルートからしょっちゅう登っているので，早々と腰を上げ，10時半に登山口に下りた。その後は温泉で汗を流し，道の駅に寄ってソフトクリームを食べ，コンビニに寄ってコーヒーを飲みながら帰宅した。３日間で久住の山中を28km歩いたが，真夏の行軍としては十分な達成感である。

脚の重い感覚

３日間山中を歩いていると，だんだん途中で休む回数は増えるが，脚に疲労感はなく，筋肉痛もない。ところが，近くの霧島山などへ登り，４，５日後に再び山へ登ると，脚がとても重い。脚の筋肉に前回の疲労が残っているように感じる。この感覚がなくなるまでの日数は，年齢とともに長くなり，今では７，８日を要する。だが，連日歩いているときには，この重い感覚はない。数日休むと，なぜ脚が重く感じられるのだろう。

この疲労感の説明ではないが，対処の方法として次のようなことがいわれている。きつい登山をする場合は，その前に日帰りハイキングのような予行登山をしておくと，その後の筋肉痛などが起こりにくいと。これを「残存効果」と呼ぶが，この効果が連続３日の山行を可能にしていたようだ。だいぶ以前だが，ツアーでニュージーランドのミルフォード・トラックやルートバーン・トラックのトレッキングに参加したとき，前日に必ず足慣らしを兼ねた軽い登山があるのを不思議に思ったのだが，こういうことだ。

山行後のむくみ

山歩きの翌日はあまり尿が出ない。下肢はパンパンに腫れている。鹿屋体育大学の教授であった山本正嘉氏は，著書『登山の運動生理学とトレーニング学』の中で，次のように説明している。登山中の水不足で，それ以上の脱水を防ぐために抗利尿ホルモンが分泌されている。このホルモンの作用が，運動をやめた後も12～48時間続くため，翌日も尿量が少なくなるらしい。

しかし，浮腫は下肢に集中する。無理な歩行で下肢の筋細胞が損傷を受け，そこに炎症が起きて水がたまっているのではないか。登山に慣れない人が，後日下肢の筋肉痛を訴えるのはそのためである。この下肢の浮腫は，４日目になると利尿とともに一気に消える。外科手術の後に患部が浮腫になり，その後に利尿期がくるのと同じ機序のような気がする。いろいろ思考を巡らせるが，登山の生理学もなかなか面白い。

山本正嘉氏によると，山歩きのトレーニングは頻繁に山を歩くことだという。確かに週に１回くらいの頻度で歩いていると，かなり無理をしても脚は痛くならない。だが，歩行中の脚の重い感覚と下山後のむくみはなくならない。

随　筆

初夏のヴェネツィア旅行記 －近代医学の基盤－

宮崎市 潤和会記念病院　濵川俊朗（はまかわとしろう）

初夏にイタリア有数の観光地であるヴェネツィアを訪れた。アドリア海の女王，水の都，1000年共和国（７世紀末～1797年），さまざまな言葉が煌びやかにこの海上都市を飾っている。カーニバル，ゴンドラ，ヴェネチアン（ムラーノ）・ガラス，数多くの芸術品や歴史的な建築物，そして世界最古のカフェ（フローリアン，1720年～）や，立ち飲み屋のバーカロ，またイカスミパスタをはじめとする海鮮料理も見逃せない。一方で1000年続いた共和国の政治体制は，米国をはじめさまざまな国の憲法や法律に影響を与えている。そして筆者はこの共和国が1000年もの間，存続した一つの要因として，合理的で科学的な医学に基づく国家の体制と運営，特に疫病対策にあると考えている。

我々は近代医学の成立を語る際，しばしば18世紀以降の科学革命に目を奪われがちである。しかし，情報の標準化，客観的な計測，公衆衛生行政，そして学問の自由といった現代医療の基盤の多くは，14～17世紀のヴェネツィア共和国，およびその庇護下にあったパドヴァ大学において萌芽した。本稿では，ヴェネツィアが医学を伝説や神学から科学へと変貌させた歴史的必然性を考察する。

１　情報の標準化：アルドゥスによるガレノスの再構築

近代医学の第一条件は，知識の再現性と客観性である。中世の医学知識は手書きの写本に依存し，誤記や恣意的な解釈が混入していた。１冊が数十キロにも達し持ち運びはできず，非常に高価で鎖につながれ図書館や教会に保存されていた。写本家が１年に１冊作成できるかどうかであった。ヴェネツィアの印刷技術がこれを標準化した。ヴェネツィアには150以上の印刷所があり，ヨーロッパの半数の書籍を発行していた。

1525年，アルドゥス印刷所が刊行したギリシャ語原典に基づく，ローマ帝国時代の医学書である『ガレノス全集』は，医学史上の金字塔の一つである。1500年にわたって信奉され，それまでアラビア語経由のラテン語訳で重層的な誤訳のあったガレノスの知見が，初めて正確な形で全欧の医師に共有された。このテキストの標準化こそが，皮肉にもガレノスの権威を解体した。全欧の解剖学者が同一の記述を共通言語として持ったことで，教科書の記述と目の前の人体の構造との矛盾を，客観的に指摘することが可能になったからである。

また，アルドゥスは巨大な医学書を書見台から解放し，持ち運び可能な「ポケットサイズ（八折判）」に変革した。そしてイタリック体を開発し，図説とテキストを統合した。これにより，医師が臨床現場（ベッドサイド）で知識を参照する習慣が生まれ，学問としての医学と臨床実践が結びつく契機となった。

２　不可視の可視化：ムラーノ・ガラスと定量的生理学

1450年ごろ，ムラーノ島のガラス職人アンジェロ・バロヴィエールは，不純物を取り除いた無色透明なガラス「クリスタッロ（Cristallo）」を発明した。それまでの緑色や茶色に濁ったガラスとは一線を画すこの素材は，医療現場における観察の精度を劇的に向上させた。

医学における「主観的な推論」から「客観的な観察」への転回において，無色透明なクリスタッロは決定的な役割を果たした。中世の診断の要であったウロスコピー（検尿）において，透明なフラスコの使用は尿の沈殿物や色の微妙な変化を正確に視認することを可能にした。更に，この透明なガラスという素材は，パドヴァ大学のサントリオ・サントリオによる「生理現象の数値化」という革命をもたらした。サントリオは，ガリレオ・ガリレイの振

り子の理論を応用し，脈拍を数値化する脈拍計（Pulsilogium）を開発した。また，空気の熱膨張を利用した温度計に世界で初めて目盛りを導入し，主観的な感覚であった「熱」を定量的なデータへと置き換えた。彼が30年にわたり自らの体重と摂取・排泄物の重量を記録し続けた代謝椅子の実験は，基礎代謝学の創始であり，体内恒常性（ホメオスタシス）概念の先駆と言える。ヴェネツィアのガラス技術は，医師の感覚を拡張し，医学に計測という科学的言語を与えた。その後，透明なガラスはレンズとなり顕微鏡や望遠鏡が開発され，更にさまざまな形で現代の生活と科学を支えていることは言うまでもない。

３　パドヴァの自由：解剖学の聖域とヴェサリウスの革命

ヴェネツィア共和国の知の砦であったパドヴァ大学は，当時のカトリック圏において例外的な「知の自由」を享受していた。共和国は教皇庁の干渉から大学を保護し，宗教を問わず優秀な学徒を受け入れた。教皇庁は人体解剖をパドヴァ大学以外では許していなかった。

この自由な環境下で，ヴェサリウスは自ら執刀する解剖学を確立した。1543年の『ファブリカ』は，ガレノスが動物の解剖に基づき犯した200か所以上の誤りを，人体の直接観察によって修正した革命である。1594年に建設された世界最古の常設解剖劇場は，解剖を「秘儀」から「公開された実証科学」へと変えた。ヴェネツィア政府が提供した自由がなければ，教条主義を打ち破る近代解剖学の誕生は数世紀遅れていたかもしれない。更にパドヴァ大学は，ガリレオやハーヴェイなどの先駆的な学者を輩出する。

４　公衆衛生の行政化：ラザレットと検疫システム

ヴェネツィアが近代医療に与えたもう一つの貢献は，公衆衛生の組織化である。1347年にモンゴル帝国の侵略に始まったと言われるペストのパンデミックによって，ヨーロッパの人口は7,500万人から5,000万に減少してしまう。その後，度重なるペストの脅威に対し，ヴェネツィアは1485年に世界初の常設衛生行政機関「衛生行政長官」を設置した。貿易海洋国家であったヴェネツィアならではの，実務的な対策であった。「原因ははっきりしないが入国させるな」である。彼らは，入港する船を40日間隔離する「検疫（Quarantina）」というシステムを構築し，ラグーンの島々に隔離病院（ラザレット）を整備した。現代の検疫の英単語Quarantineに言葉が残されている。これは医学が「個人の治療」という枠組みを超え，国家が市民の生命データを管理し，貿易相手国の感染状況を入手するシステムで，パンデミックに対抗する「生政治（バイオポリティクス）」の誕生を意味する。また，各教区の司祭に日々の死因報告を義務付けた死亡統計の集積は，現代の疫学の先駆けとなった。

５　薬理学的統制：パドヴァ大学植物園とテリアカの品質保証

近代薬理学の起源もまた，ヴェネツィアの商業主義的品質管理と実証主義の融合に見出すことができる。1545年に設立されたパドヴァ大学植物園は，東方貿易で流入する膨大な薬草の真贋を見極めるための標準品を提供した。高価な薬草には偽物が多く含まれていた。また，当時万能薬とされた「テリアカ」の製造は，国家の監督下での公開調合や成分の厳格な審査が義務付けられた。これは，原材料の流通を管理し，製造工程を標準化し，公的機関がそれを認証するという，現代の医薬製造管理基準（GMP）の元祖とも言えるシステムだった。

結　論

情報の標準化，不可視の可視化，解剖の自由，医学教育，公衆衛生の行政化，そして薬理学的統制。これらは単なる歴史的エピソードではなく，現代の我々臨床家が日々の診療を行うための基盤となっている。

ヴェネツィアの歴史は，医学が祈りや思弁から，いかにして観察と合理的なシステムへと進化したかを雄弁に物語っている。我々医師が学び診療に用いている手法の一部は，アドリア海のラグーンで育まれた国家の存続と生存への執念が生んだ理性の系譜であると言える。



随　筆

高校野球大好きドクターVol.５ ～西日本編～

宮崎市　山田（やまだ）琢也（たくや）

悲劇の主役は僕のヒーロー

九州勢から関門海峡を渡り西日本勢に進む。中国地区は野球どころ広島・岡山・山口という山陽勢でなく２つの山陰勢にスポットを当てる。

境（鳥取）0 - 1 法政一（西東京）

（延長10回サヨナラ 1984）

延長10回二死まで境の安部投手がノーヒットノーランを継続中だったのが，被弾して無安打無得点試合どころか，完封もチームの勝利も一瞬で消えたまさに天国から地獄のゲーム。

開星（島根）5 - 6 仙台育英（宮城）(2010)

開星が５- ４とリードの９回二死，平凡にみえ，誰もが試合終了と思った中飛を名手・本田中堅手がまさかの落球で，２走者が還り逆転され，その裏の好機で打者（糸原）の外野飛球は逆にスーパーキャッチに遭い，敗戦。

両選手とも悲劇的で言葉もないし，敗者なのだが，私みたいなコアな高校野球ファンの記憶にずっと刻まれているので（思考が飛躍していると思われるかもしれないが）ある意味“勝者”で私の中ではヒーローだ。

打って 守って（走って ではなく）歩かせて

次は四国地区。まずは「打って」から。四国勢×打つとなれば池田（徳島）の“やまびこ打線”エースで４番の畠山（はたやま）を両２年生 江上・水野が挟むクリーンナップの1982。早稲田実，広島商との試合（それぞれ14- 2，12- 2）が強烈で，静岡，日大二，都城，東洋大姫路との試合（それぞれ５- ２，４- ３，５- ３，４- ３）がスコアだけなら接戦だが点差以上の迫力があった。甲子園で９番打者が２試合連続本塁打を打つようなチームだ。

平成以降君臨する智弁和歌山，日大三など強打のチームは続々出てきたし，記録も上書きされていったが，1982-1983の池田が世に高校野球界に与えたインパクトは大だった。池田はのちほどまた触れる。

“矢の”ような返球？

「守って」魅せたのは“奇跡のバックホーム”松山商（愛媛）-熊本工（1996決勝）。私は昼下がりに医局に上がったところで，最終回二死無走者１点ビハインドでの熊工１年生 澤村の初球起死回生弾，そして延長10回裏の伝説の場面と，一番いいところを運よく観れた。10回裏は熊工が一死満塁のサヨナラのチャンスで，ライト方向への打球は，角度・距離はライトオーバー（＝どんな形であれ熊工に得点が入りサヨナラ勝利優勝）にみえた。ところが右翼方向から左翼方向へ吹くいわゆる“浜風”に押し戻され，一旦背走したのを踵を返して捕球するや助走をつけ，そこしかないというピンポイントに，直前に代わっていた右翼手・矢野が文字どおり矢のようなというより少し弧を描いた大返球で，犠飛生還狙う三走を本塁タッチアウト，熊工のサヨナラ優勝ならず。

人や物事は多面的にみた方がいい

世紀の「歩かせて」はアレをおいて他にない。超高校級松井を５敬遠の明徳義塾（高知）-星稜（石川）(1992)。私は幸か不幸かバイトのためリアルタイムには全く観れず。テレ朝・植草アナの「勝負はしません」(× ５)。「俺はなんのために甲子園に来たんだろう，１回も振れません」。感情を入れることをあからさまにはせず粛々と状況を伝えた実況が印象的だ。前代未聞の作戦に当時から今まで賛否両論あるが，明徳や馬淵監督に対する私が持つイメージとい

うのは，何もこれだけということではないし，アンチ明徳アンチ馬淵でもない。

馬淵さんはU18の監督を務められていたときもそうだが，野球眼にすぐれた“スモールベースボール”という印象がある。全打席故意四球の出来事から10年。明徳は全国制覇を果たす（2002）。３番・森岡，４番・筧（かけい）という馬淵監督も「全国クラスの打者が２人揃う」と豪語するチームだった。３回戦の常総学院（茨城）戦。８回二死一塁，４-６の劣勢から沖田の同点２ラン，続く森岡の初球ソロであっという間に逆転。ゲームチェンジャーばりの上位打者による空中戦という馬淵野球の別の顔をみた。

第62回MRT招待高校野球（2025）では明徳の２試合を現地で観た。私は野球素人なので，技術的なことやどの選手がプロ向きの好素材とかはわからないし言えない。ただ試合展開や戦術は楽しめる。明徳が状況に応じて，４番打者に送りバント，別の場面では強攻。また走者一三塁で，“偽装スクイズ”や一走がスチールと見せかけて一二間に挟まれ三走が本塁を陥れる“偽装重盗”。観ていて面白い野球だった。ザ明徳，ザ馬淵だ。

昭和は遠くなりにけり

次は近畿地区。端的に言えば昭和～平成はPL学園（大阪），平成～令和は大阪桐蔭が高校野球を牽引している。ここでは1986（S61）に奈良勢として初の全国制覇を果たした天理にフォーカスする。目にも鮮やかな紫色を配したユニフォームや帽子。名将・橋本武徳監督での夏２回，のちの春１回と合わせ３回の優勝を誇るが，初Vのときだ。右のエース本橋に，山下和輝，中村良二らの強打。監督の名が橋本で本橋がエース。本橋はビジュアルも投球フォームも端正で，チームの前評判も春から高く，春選抜初戦から東西の両雄の激突となった天理-関東一（東京）はカクテル光線の中の熱戦で天理が制した。それでも春に獲れなかった大旗を夏つかむが，強力チームながら泥臭さもあり，怪我人も出て，本橋は右肘を傷めていたのを押し５試合中４試合登板（うち２完投）467球と“The昭和”の“傷だらけの優勝”だった。

先駆的だった攻めダルマ

私は中３時ソフトボールの練習で，少し間が空いたときみんなで水を飲みに行こうとしたら，監督の「水を飲むな」という声が飛び，不安・不満に覆われたことがある。ただこれには解があり，練習の最後にアイスの差し入れのサプライズが待っていた。また臨時コーチのノックの球が強すぎて捕れないし，地を這うボールが弾いた砂が多量両目に入ってしまった。でもプレイを中断できずじまい。水飲むな，ご褒美アイス，進言できない空気，すべて今思えば“昭和”だ。今の時代なら，今の私なら，「目に砂が入りました。目を洗わせてください」とプレイを止めて言えただろう。

先述の徳島・池田は水野さんが述懐しているが，練習中にスポーツドリンクは摂ってよかったし，ウエイトトレーニングのあとは地元の応援してくれているお店でステーキをたらふく食べていたという。ちょうどポカリスエットを製造する大塚製薬が徳島県にある。“昭和”の時代にされていたことが“平成・令和”だったのだ。恐るべし“攻めダルマ”蔦監督。

今このとき この時代 をよしとできるよう

『不適切にもほどがある！』というTBS系ドラマがあった。“昭和”を想い出し笑える内容だ。ここでは，あの時代はけしからんとか，どの時代がいい悪いとかいう話をするつもりはなく，昭和には昭和のよさがあり，不適切なものも相当あったと思う。それは平成，令和においてもしかりだろう。「あのときがよかったなぁ」もいいが，世相，世の中の仕組み，周りの環境や人，総じて状況とでも言おうか，変化していくので，その中で適応していき「今が一番いいな」と思えることが大事と思う。もちろん何やってもうまくいかないときもある。そんなときは待つしかないし腐らず待てばいい。状況はいつか絶対変わるから。

中学最後の夏，生徒大会で４番サード，親子大会では１番ショートで起用してくれた監督さん。親子大会で左中間に先頭打者ランニングホームランを打って生還したあと，息を弾ませチームメイトや友達と喜びを分かち合う私に頼もしげな優しい視線を送ってくれた。おそらく40代であられたと思うがあれから42年，ご健在かなぁ。

（Vol.１令和７年10月号，Vol.２令和８年５月号，Vol.３令和８年９月号，Vol.４令和８年10月号）

随　筆

水というもの

宮崎市　谷口二郎（たにぐちじろう）

今年の夏は地震，線状降水帯などによる災害が続けて起きた。今まで経験したことのない大災害である。その中でも一番困ったのが「水」である。普段は何も思わないが，水のない生活というのがいかに大変なことか教えてくれた。どんな被災者たちも口をそろえて「水が一番困った」と語っていた。飲み水はもちろんのこと，洗濯，洗いモノ，風呂，トイレなどにも不可欠なものである。一日に日本人一人当たり200～300ｌ，つまり浴槽一杯分くらいの水を使うという。４人家族なら４杯分である。信じられないような量を毎日当たり前のように使用しているのだ。

先日『せせらぎ』という小冊子が届いた。「宮崎上下水道局だより」とサブタイトルがついている。Vol.50 AUG. 2026ということは毎月発行され，届けられているということだ。しかし恥ずかしながら今回初めて手に取った。

サブタイトルに『水道水って実は「スゴイ」んです！』とある。まず蛇口をひねり出てくる水道水をそのまま飲めるのは日本を含め９か国しかない。私もいろんな外国を旅したが，ヨーロッパはどの国も硬水で飲めたものではない。ガイドから飲んではいけませんと言われたが，ヘソ曲りの私は試しに飲んでみた。すると飲めたもんではない。だからペットボトルは常に持ち歩かなくてはならない。

インドのレストランでは，インド料理とミネラルウォーターを注文，次の日ものすごい下痢。10分おきぐらいにトイレに駆け込んだ。必死の思いでなんとか日本に帰り着き，検査するとなんと赤痢だった。

朝早く保健所の人が来て捜査令状みたいなものを見せられ，「隔離が必要ですから」とまるで犯人が確保されるみたいに囲まれ，車に乗せられた。

行き先は県立宮崎病院の隔離病棟。当時私は県立病院に勤めていた。敷地の一角にゴールド色の建物を建設中だった。そこの横を通って通勤していたのだ。もうすぐ完成する前にスタッフに尋ねた。すると「隔離病棟が古くなったので建て替えることになり，４月にオープンするという。一体どんな人が入るのだろう」と思っていたら，その第１号が私だったのだ。

本当に周りとは全く隔離されていて，自由に出ることはもちろん，人と接するときも病室のドアの小窓からの会話をするのである。その光景はまるで刑務所と同じだ。入ったことはないが…。

部屋の中はホルマリン消毒してあり，ものす

ごい匂いがして本当に鼻に付くというのはこんなことをいうのだろうと思った。持ち込んだカメラは退院後現像すると，写真の色がショッキングピンクになっていて，まるでホラー映画のシーンではないかというような暗いピンク色になっていてびっくりした。

１か月後，産婦人科のスタッフに迷惑かけたなぁと思いながら，ようやく職場に復帰した。だが今度は全身に発疹が……。血液検査をすると風疹。風疹を妊婦にうつしたら大変ということでまた１週間休み。

結局２か月ぐらい休んで本当に迷惑をかけた。たった一杯の水が原因でこんな風になるとは思わなかった。

外国のレストランで水を頼むときは，ミネラルウォーターではなく炭酸を頼まなくてはならないことを身をもって体験した。

さて日本の水道水は水道法に基づき，52項目の水質検査をしている。もちろん宮崎の水も同じだ。その他にも農薬が混入していないかもチェックされ，令和８年からは「PFOS・PFOA『有機フッ素化合物（PFAS）の一種』」の検査も行われるようになった。52項目の中には大腸菌が検出されないこと，カルシウム，マグネシウムなど（硬度）が300mg/l以下なども含まれている。

それを市内30か所の蛇口でお盆やお正月も休まず，365日毎日検査しているというから安心して飲めるのだ。ちなみに水道水をもっと美味しく飲むには10℃前後が最もおいしく感じられる温度といわれてる。

ぜひお試しあれ！

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の２本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）
対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供
対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛　office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。
折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

随　筆

門川神社大祭

延岡市 井上病院　石橋俊秀（いしばしとしひで）

宮崎県門川町の門川神社は享禄３庚寅年（1530年）に勧請したと伝えられている。現在の社殿は平成４年に改築された建物である。御祭神は大国主神（おおくにぬしのかみ），猿田彦神（さるたひこのかみ），伊邪那美神（いざなみのかみ）などだ。

門川神社大祭

門川神社大祭は毎年11月23日に開かれる。五穀豊穣・家内安全・無病息災を祈願する祭りで，厄年の男たちが担ぐお神輿が約10時間かけて地域を回る。

令和７年11月23日㈰に「門川神社大祭」を見学した。門川愛宕稲荷神社の鳥居があり，頭の神，歯の神，目・鼻の神，手足の神，胃腸の神，性・腰の神，導きの神，命の神などが祀られていた。水神社には赤いハートマーク（♥）が描かれていた。見下ろすと門川港方面が見えた。

その１　小園臼太鼓踊り

祭りの中で奉納される「小園臼太鼓踊り（こぞのうすだいこおど）」は，昭和59年４月19日に町の無形民俗文化財に指定された。古くからの戦勝を祝って踊ったものと伝えられている。秋の澄んだ空に白い幟（のぼり）が美しく映える。大祭の見どころだ。

豊臣秀吉の出兵に関連しており陣中で舞われたものといわれている。文禄・慶長の役（朝鮮出兵）のおり，肥後の加藤清正が敵を油断させるために踊った戦術に由来するとも言われている。踊りの手順は，人を集める道鐘から始まり，出兵の内容を盛った謡が踊りの各部分に入り踊りが静と動で構成されている。現在では小園臼太鼓踊り保存会の手により受け継がれ奉納されている。

臼太鼓踊りとは，宮崎県から熊本県にかけて踊られる太鼓踊り。臼太鼓とは，太鼓を前に抱くようにして叩く姿が臼を横にしたようであることから呼ばれている。西都市下水流地区に伝わる太鼓踊りは地元では「ウスデコ」とも呼ばれ，毎年旧暦の８月１日に五穀豊穣と水難・火難除けの祈願を込めて南方神社や一ツ瀬川河川敷，火の神前などに奉納されている。各地で言い方や踊り方が少し違っているようで，門川の臼太鼓踊りは「小園臼太鼓踊り」と言われている。

７：20ごろから「小園太鼓踊り」の準備が始まった。事前に小さな神輿と大きな神輿が準備されていた。小さい方の神輿には「上善如水（ジョウゼンミズノゴトシ）」という純米吟醸が添えられていた。

７色の短冊で彩られた大きな榊（さかき）を持った人が先頭に立ち，４人の花笠を被った人たちが鉦（かね）を鳴らしながら中央で踊った。それに続き左右の「奉納大将軍神社と赤い神社の絵と馬の絵」の幟を１本背負った人，反対側には「奉納大将軍神社と真っ白な神社の絵と馬の絵」を背負った

人。その横には大将軍と染め抜いた真っ赤な幟１本と真っ赤な幟２本を背負った人が１人，同様に反対側には真っ白な幟を背負った人。

更に茶色の鉢巻を締め，白い上着に青いズボンを穿き，薄茶色の臼太鼓を胸の前に抱え，背中に３本の青い幟を背負った４人ずつが続いた。その後は合計12人が左右に分かれたり，輪になったりしながら踊った。踊り終わった後で，榊を小分けにして観衆に配っていた。私がもらった小枝には金色，白，赤，紫，青，黄色，緑の７色の短冊が揃っていた。七夕のようだ。



小園臼太鼓踊り



小園臼太鼓踊り

その２　厄年神輿

神輿を担ぎ出す直前に紅白の餅まきがあった。私は４個拾った。目の前に陣取った小学生の男子が上着を広げて10個ぐらい拾っていた。

いよいよ神輿がスタートした。白い服を着た昭和60年から昭和61年生まれの厄年の人々が集まった。一旦肩の上まで持ち上げられた。その後，神主を先頭に，白いお面を被った天鈿女命（あめのうずめのみこと）と赤い天狗のお面を被った「荒神さん」が道案内をしてくださった。



荒神さんと天鈿女命

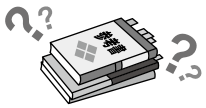
小さい方の神輿は子どもたちが担ぐのではなく，軽トラで運ばれていった。大きな方の神輿が急な石段を下りるときには担ぐ人たちが「オー，サィガー」「オー，サィガー」と叫びながら慎重に進んで行った。その後は町中を巡るそうだ。



厄年神輿

天鈿女命は日本神話に登場する女神様。芸能の神格を持つ日本最古の踊り子であり，神楽や俳優といった日本芸能の祖神とされる。巫女的な性格を備え，宮廷祭祀に関わる猿女君（さるめのきみ）の祖ともされる。ご利益は技芸上達，縁結びなど。神話の中でも刺激的な内容が多く，日本の女神の中でも有名な存在だ。

荒神（あらがみ または こうじん）とは，日本の民間信仰において，地域や台所の神として祀られる神格の一例。



あなたできますか？

－令和７年度　医師国家試験問題より－

（解答は51ページ）

1．GVHDの原因となる白血球はどれか。
a　単　球
b　好酸球
c　好中球
d　好塩基球
e　リンパ球

2．重症化した拡張型心筋症に対し，現時点で我が国で**行われていない**のはどれか。
a　緩和ケア
b　心臓移植
c　遺伝子治療
d　僧帽弁置換術
e　植込み型除細動器〈ICD〉植込み術

3．機能性月経困難症で正しいのはどれか。
a　30歳以降に好発する。
b　手術療法が第一選択となる。
c　子宮筋腫や子宮内膜症が主な原因である。
d　プロスタグランディン合成阻害薬が有効である。
e　月経開始の１週間前から疼痛が始まり月経終了後も続く。

4．公費医療制度と根拠法の組合せで正しいのはどれか。
a　結核患者の入院 ―――― 検疫法
b　未熟児の養育医療 ―――― 生活保護法
c　精神障害者の措置入院 ―― 精神保健福祉法
d　指定難病医療費助成制度 ― 健康保険法
e　小児慢性特定疾病医療費助成制度 ―――― 障害者自立支援法

5．76歳の男性。２週間前から続く全身倦怠感を主訴に来院した。進行肺腺癌と診断され，４か月前から免疫チェックポイント阻害薬を投与中である。高血圧症に対してカルシウム拮抗薬を内服している。意識は清明。脈拍72/分，整。血圧120/80mmHg。甲状腺腫を触知しない。血液所見：赤血球422万，Hb12.8g/dL，白血球8,600。血液生化学所見：血糖104mg/dL，トリグリセリド180mg/dL，LDLコレステロール224mg/dL，Na142mEq/L，K4.5mEq/L，Cl100mEq/L，ACTH46pg/mL（基準60以下），プロラクチン〈PRL〉45ng/mL（基準15以下），TSH52μU/mL（基準0.2～4.0），FT40.2ng/dL（基準0.8～2.2），コルチゾール10.2μg/dL（基準5.2～12.6）。胸部造影CTでは肺癌原発巣の縮小がみられた。
適切な対応はどれか。
a　スタチンの投与
b　ドパミン作動薬の投与
c　甲状腺ホルモン薬の投与
d　グルココルチコイドの投与
e　免疫チェックポイント阻害薬の中止

6．過敏性腸症候群の診断に必須なのはどれか。
a　下　痢
b　腹　痛
c　便　秘
d　食欲不振
e　腹部膨満

7．欠乏すると皮膚炎をきたすのはどれか。
a　鉄
b　銅
c　亜　鉛
d　葉　酸
e　セレン

8．75歳の女性。最近①疲れやすく，②日中も眠気が強いことを主訴に来院した。③歩く速度が遅くなり，脚が細くなったと感じている。身長150cm，体重40kg（④半年間で３kgの体重減少）。⑤握力は右14kg，左11kgであった。
下線部のうち，身体的フレイルか否かを判断する上で，必要な項目として**誤っている**のはどれか。
a　①
b　②
c　③
d　④
e　⑤

9．両側性に出現することが最も多い副鼻腔疾患はどれか。
a　乳頭腫
b　上顎洞癌
c　歯性上顎洞炎
d　副鼻腔真菌症
e　好酸球性副鼻腔炎

10．４歳の女児。左上肢を動かさないため母親に連れられ夜間救急外来を受診した。日中，祖父母と一緒にショッピングセンターに出かけた際に，急に駆け出そうとしたため祖父がつないでいた手を引っ張ったところ，急に泣き出し左上肢を動かさなくなった。指示に従って左手指を曲げることはできるが，左肩左肘は動かそうとしない。
考えられる診断はどれか。
a　上腕骨顆上骨折
b　正中神経麻痺
c　肘内障
d　肘関節脱臼
e　腕神経叢損傷

エコー・リレー

（615回）
（南から北へ北から南へ）

焦らず，待つ

都城市 メディカルシティ東部病院　海老原（えびはら）　尚（しょう）



私の趣味は魚釣りで，学生時代は時間があれば筑後川に通い詰めていた。筑後川は九州最大の川であり，鰻や鱸，鯉やエツなど多種多様な魚が棲んでいたため漁師や釣り人が多かった。そこで出会った釣り人から聞いた話だが，福岡県を流れるこの川には，かつて「鯉取りまぁしゃん」と呼ばれた，素潜りで鯉をとる名人がいたという。その漁法が独特で，漁の数日前から肉をたっぷり食べて体力をつけ，当日は河原でたき火をして体をじっくり温めて全身から汗を噴き出させ，裸のまま冷たい川に潜っていったという。幾度となく川に潜るうちに，川底の地形や水の流れ，鯉が潜む場所やその動きを身体で覚え込んでいたそうで，鯉を無理に追いかけ回して捕まえていたわけではないらしい。「鯉抱き」という秘技を用いて，両脇に一匹ずつ，更に口にも１匹くわえ，一度に３匹の鯉を捕まえたという逸話も残っている。力任せではなく，幾度もの失敗を重ねながら少しずつ身につけた技だったのだろう。変わった人もいたものだと思う反面，そんな姿勢は，案外見習うべき点もある。

せっかちな性格もあって，物事をやや強引に進めてしまい，反省することがよくある。まぁしゃんが幾度も川に潜り，地道な観察と経験を積み重ねて技を磨いたように，私もすぐに結果を求めず，相手や状況をよく理解し，十分な準備を重ねながら，自分なりの技術と判断力を少しずつ磨いていきたいと思う。

〔次回は，日向市の尾﨑 公威先生にお願いします〕

医学の進歩と，変わらないもの

都城市 都城医療センター 産婦人科　古田（ふるた）　賢（けん）



医師になってまもなく30年になる。

先日，母校の宮崎大学医学部校舎の正面にある，ヒポクラテスの像を見る機会があった。そこにはこう記されている。

‘VITA BREVIS ARS LONGA OCCASIO PRAECEPS EXPERIENTIA FALLAX JUDICIUM DIFFICILE’

－人生は短く，術は長い。機会は過ぎ去りやすく，経験は欺き，判断は難しい－



この30年，産婦人科医として歩んできた道は，まさに医学の変革そのものだった。開腹手術から腹腔鏡手術，そしてロボット支援下手術へ。婦人科癌の治療も，病理診断だけではなく，腫瘍の遺伝子情報を知ることなしには治療方針を決められない時代になった。

そして今，AIは更に医学を変えようとしている。やがてヒューマノイドロボットが，手術の一部，あるいは執刀そのものを担う日が来るのかもしれない。正確で，疲れることも，忘れることもなく，世界で起こる事象を瞬時に共有し…まさにスーパードクターそのものである。

では，医師の仕事はなくなるのだろうか。いや，私は，全力で否定したい。

AIは問題解決能力は素晴らしいが，患者から感じる異変，違和感などは人間にしか感じ取ることはできないと思う。医学がどれほど変わっても，医師であることの本質は，最新技術を使いこなすことも大切だが，病気を抱えた一人の人間と向き合い，「何が問題なのか，何をなすべきか」を患者さんとともに考えることにこそあると思う。

30年経って，ようやくヒポクラテスの言葉が分かってきた。

「人生は短く，術は長い。そして，判断は難しい。」

〔次回は，都城市の中山 徹男先生にお願いします〕

メディアの目



AIにどこまで任せるか

テレビ宮崎 コンテンツプロデュース局 報道部長
児玉（こだま）　泰一郎（たいいちろう）

はじめまして。テレビ宮崎報道部の児玉泰一郎と申します。弊社夕方のニュース『＃Link』のキャスターを担当しております。今回初めてメディアの目に寄稿させていただきます。よろしくお願いいたします。

初回に何を書くか迷ったのですが，私が最近よく考える「AIにどこまで任せるか」をテーマに書かせていただきます。

AIの浸透は目覚ましく，家に帰れば妻が子どもの習い事の当番シフト作成や旅行プランの相談などをAIにしており，すっかり頼れる存在となっています…夫以上に。

UMK報道部でも原稿の添削やインタビュー音声の文字起こし，著名人のデータベース化などに活用しており，他部署でも企画書の作成補助や議事録の作成などに導入が進んでいます。各業界で人手不足が深刻化する中，AIを業務に組み込んで効率化し，人的負担を軽減することは避けて通れない命題です。ここで大切なのは，「AIに任せていいこと」と「人にしかできないこと，人がすべきこと」を区別することだと感じています。

では，報道において「人にしかできないこと」とは何なのか。

それは「情報を入手する」ということです。

AIは人間が投げた「１」を瞬時に「10」や「100」に膨らませる掛け算の力を持っていますが，「０から１」を生み出すことはできません。報道の現場において，情報というタネをまくのが人間であり，水や肥料をやって花を咲かせるのがAIの仕事，というイメージです。

そのタネを手に入れるためには，取材相手との「信頼関係」が欠かせません。マスコミには古くから，取材対象者の帰宅後や出勤前に自宅を訪ねる「夜討ち朝駆け」と呼ばれる取材手法があります。しかし，ただ足を運べば会話ができるわけではありません。何度も通う中で，少しずつ信頼が芽生え，話ができるケースがほとんどです。

また，日頃から地域住民の皆さんのもとへ足を運び，真摯に耳を傾けることで初めて見えてくる地域の課題もあります。

事前に丁寧な下調べをしてくる記者，礼儀正しく真摯に耳を傾ける記者だからこそ，「この人に託したい」「この人になら話したい」と情報が集まってきます。

ニュースの源泉には，いつの時代も人間同士の「心と心の通い合い」があります。これこそがAIには代替できない，人間が担うべき本質です。

これからも「人にしかできないこと」と「AIに任せるべきこと」を丁寧に見極めながら，最新のテクノロジーも味方につけ，人の温もりと信頼が通った報道を宮崎の皆様にお届けしていきたいと思っております。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは，「医療機関での身近な疑問や質問」について，各分野の専門家が回答いたします。

第63回　CPAP治療中に長期間受診しない患者への対応



Q.

睡眠時無呼吸症候群でCPAP療法を行っている患者には定期受診をお願いしていますが，電話で繰り返し受診を勧めても，３か月以上来院されない方がいます。その間も機器の貸与費用は医療機関に発生し，診療報酬上算定できる範囲を超えると医療機関の負担となります。このような患者に対し，受診を促すために医療機関はどこまで対応できるのでしょうか。また，一定期間受診がない場合にCPAP機器の返却や貸与終了を求めることは可能でしょうか。必要な通知や手続き，法的な注意点も教えてください。

A.



CPAP治療において，繰り返し受診を勧めても来院されず，その間の機器の貸与費用を医療機関が負担し続けることは，診療上の問題を生じさせる一方，残念ながらこのような不誠実な患者が増えているのも実情です。患者の安全に配慮する必要はありますが，医療機関だけが際限なく負担を引き受けることまで求められるわけではありません。適切な説明や手続を経たうえで，機器の貸与終了や返却を求めていくべきです。

まず，電話などで未受診の理由，機器の使用状況，治療継続の意思を確認します。その際には，定期受診が治療効果や安全性の確認に必要であり，受診がなければ適切な管理や貸与の継続が難しくなることを説明してください。通院が困難な事情があれば，他院への紹介なども提案します。連絡日時，説明内容，患者さんの返答は，診療録などに記録しておくことが重要です。

それでも受診や返答がない場合は，期限を定めて書面で受診または連絡を求めます。書面には，これまでの連絡経緯，受診の必要性，対応がない場合には貸与終了と返却を求めることを明記します。期限は，例えば書面到達後２～４週間程度を目安に，患者さんの事情に応じて設定します。

期限を過ぎても対応がなければ，主治医において治療中断による危険性を検討し，契約内容も確認したうえで，貸与終了日，返却期限および返却方法をあらためて通知します。貸与業者とは，機器の所有者や契約上の役割分担，費用の発生が止まる時点を確認してください。必要に応じて転医の相談や診療情報の提供に応じるなど，治療継続の機会を確保することも大切です。

なお，前述のとおり，CPAP治療において通院継続を怠る患者が増えていることは事実です。そのため，治療開始時から，定期受診の必要性と未受診時の対応を書面で説明し，可能であれば同意書まで取っておくことが好ましいでしょう。来院しなくなってからの対応ではなく，CPAP治療を受ける患者全員に初診の段階からしっかりとした説明と同意を得ることで，問題の発生率自体を下げることが重要でしょう。

（回答　宮崎県医師協同組合 顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士　高山　桂）

＜医療機関での身近な疑問，質問をお寄せください＞

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp），FAX，郵送などでお送りください。
  ※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

私の本



ぶどう膜アトラス

宮崎市 おおつか杉田眼科　杉田（すぎた）　新（あらた）

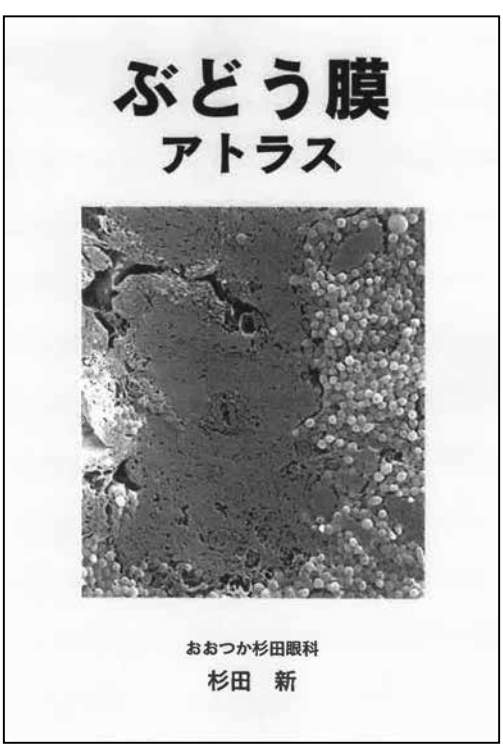
このたび，「ぶどう膜アトラス」というタイトルの本を出版しましたので紹介させていただきます。

ぶどう膜とは，虹彩，毛様体，脈絡膜の総称で，血管に富んでいることから，眼球血管膜とも呼ばれます。

ぶどう膜の名前の由来は，ぶどう膜組織の外観がぶどうの房に似ていることから名づけられたもので，これは虹彩の基底面と割断面を走査電子顕微鏡（SEM）で見るとよく分かります。

本書はこれまで，大学勤務医時代（眼科教室と解剖，電子顕微鏡教室）とアメリカ留学時代に撮り貯めていたぶどう膜のSEM写真を中心にまとめたものです。

本書は読む本ではなく，見て楽しむ本にするために，写真の説明はあえて省略しました。写真が分かり難い場合は本文を参照してください。



医学のひびき、未来へ

～みらいへの挑戦と貢献～

人生100年時代をどう生きるか



参加登録はこちらから

第32回 日本医学会総会 2027

The 32nd General Assembly of the Japan Medical Congress 2027

会　頭　澤　芳樹　大阪大学 名誉教授 大阪けいさつ病院 総長

準備委員長　坂田 泰史　大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 教授 大阪大学医学部附属病院 病院長

学術講演会	情報交換スペース（学術展示）	市民展示
2027年 4月23日㊎～25日㊐	2027年 4月22日㊍～25日㊐	2027年 いのち健康みらい博2027 ―いのち輝く、その先へ。 3月20日㊏～28日㊐
大阪市北区 中之島エリア　大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクション ほか		大阪市北区 うめきたエリア

主催／日本医学会　実行機関／第32回日本医学会総会

https://isoukai2027.jp

宮崎県感染症発生動向 ～９月～

令和８年８月31日～令和８年９月27日（第36週～第39週）

■全数報告の感染症

１類：報告なし。

２類：○結核９例（男性５例・女性４例）：宮崎市（８例），延岡（１例）保健所から報告があった。病型別報告数は【表１】，年齢別報告数は【表２】のとおりであった。

３類：○腸管出血性大腸菌感染症２例：宮崎市保健所から報告があった。いずれも無症状病原体保有者であった。年齢は30歳代と50歳代で，原因菌は【表３】のとおりであった。

４類：○デング熱１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，性別は男性であった。病型はデング熱であった。主な症状として発熱，２日以上続く発熱，頭痛，全身の筋肉痛，骨関節痛，発疹，血小板・白血球減少，血清蛋白の低下がみられた。バングラデシュからの来日者であった。

○日本紅斑熱１例：小林保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，性別は女性であった。主な症状として頭痛，刺し口，発疹，肝機能異常等がみられた。

○レジオネラ症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，性別は男性であった。病型は肺炎型であった。主な症状として肺炎がみられた。

○レプトスピラ症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は５～９歳で，主な症状として発熱，結膜充血等がみられた。

５類：○急性脳炎１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は10歳代で，病原体は不明であった。主な症状として発熱，頭痛，嘔吐等がみられた。

○クロイツフェルト・ヤコブ病１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病であった。診断の確実度は，ほぼ確実であった。主な症状として進行性認知症，ミオクローヌス，錐体路症状，視覚異常がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症２例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代と90歳代で，主な症状としてショック，肝不全，腎不全，DIC，軟部組織炎がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として発熱，咳，肺炎，菌血症がみられた。

○水痘（入院例）１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は５～９歳であった。病型は検査診断例であった。主な症状として発疹，膿痂疹，蜂窩織炎がみられた。ワクチン接種歴は有りであった。

○梅毒９例（男性８例，女性１例）：保健所報告数は【図１】，病型別報告数は【表４】，年齢別報告数は【表５】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，梅毒性バラ疹がみられた。

○百日咳３例：延岡（２例），宮崎市（１例）保健所から報告があった。年齢は10歳代が２例，40歳代が１例であった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込みがみられた。ワクチン接種歴は有りが２例，不明が１例であった。

表１　結核 病型別報告数（例）

肺結核	3
その他の結核 （結核性胸膜炎，粟粒結核）	2
無症状病原体保有者	4

表２　結核 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
40歳代	2
50歳代	4
60歳代	1
70歳代	1
80歳代	1

表３　腸管出血性大腸菌感染症 原因菌別報告数（例）

原因菌	報告数
O157（VT2）	1
O血清群不明（VT2）	1

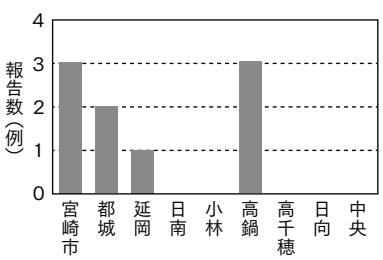


図１　梅毒 保健所別報告数（例）

表４　梅毒 病型別報告数（例）

早期顕症梅毒Ⅰ期	1
早期顕症梅毒Ⅱ期	5
無症状病原体保有者	3

表５　梅毒 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
20歳代	3
30歳代	2
40歳代	1
50歳代	2
70歳代	1

■５類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は1,005人（定点あたり64.4）で，前月の106％，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の67％であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は4,273人（定点あたり152.6）で，前月の約117％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ，RSウイルス感染症，咽頭結膜熱及びヘルパンギーナで，減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎，感染性胃腸炎であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は183人（6.5）で前月の約1.6倍，例年の約5.8倍であった。延岡（14.7），高千穂（13.5），高鍋（8.0）保健所からの報告が多く，20歳未満が全体の約半数を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は130人（8.7）で前月の約2.3倍，例年の約0.5倍であった。宮崎市（14.8），都城（10.5），日向（7.0）保健所からの報告が多く，６ヵ月から２歳が全体の約８割を占めた。

前月との比較

	2026年９月		2026年８月		例年との比較
	報告数（人）	定点当たり(人)	報告数（人）	定点当たり(人)	
インフルエンザ	183	6.5	114	4.1	★
新型コロナ※１	103	3.7	181	6.5	
RSウイルス感染症	130	8.7	57	3.8	
咽頭結膜熱	30	2.0	16	1.1	
溶レン菌咽頭炎※２	86	5.7	95	6.3	
感染性胃腸炎	304	20.3	349	23.3	
水痘	6	0.4	6	0.4	
手足口病	19	1.3	19	1.3	
伝染性紅斑	1	0.1	2	0.1	
突発性発しん	39	2.6	35	2.3	
ヘルパンギーナ	39	2.6	17	1.1	
流行性耳下腺炎	2	0.1	3	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	61	10.2	57	9.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	7	1.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.0	0	0.0	
急性呼吸器感染症	4,273	152.6	3,665	130.9	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前５年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い
※１ 新型コロナウイルス感染症
※２ Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	3
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		2
パラインフルエンザウイルス	１型		1
	２型		0
	３型		1
	４型		0
ヒトメタニューモウイルス			2
ライノウイルス			6
エンテロウイルス			3
アデノウイルス			0
ライノウイルス・エンテロウイルス			1
検出せず※2			25
受付検体数			45

※１ 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか１つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※２ 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

	検出病原体	件
細菌	EHEC（O157:H7）	1
	Salmonella Thompson（O7:k:1,5）	3
	EHEC（O157:HMN）	1
ウイルス	Coxsackie virus A6	1
	Adeno virus 2	1
	Influenza virus A H1pdm09	1
	SARS-CoV-2	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2026年９月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は23人（1.8）で，前月比74％と減少した。また，昨年９月（2.6）の約0.7倍であった。

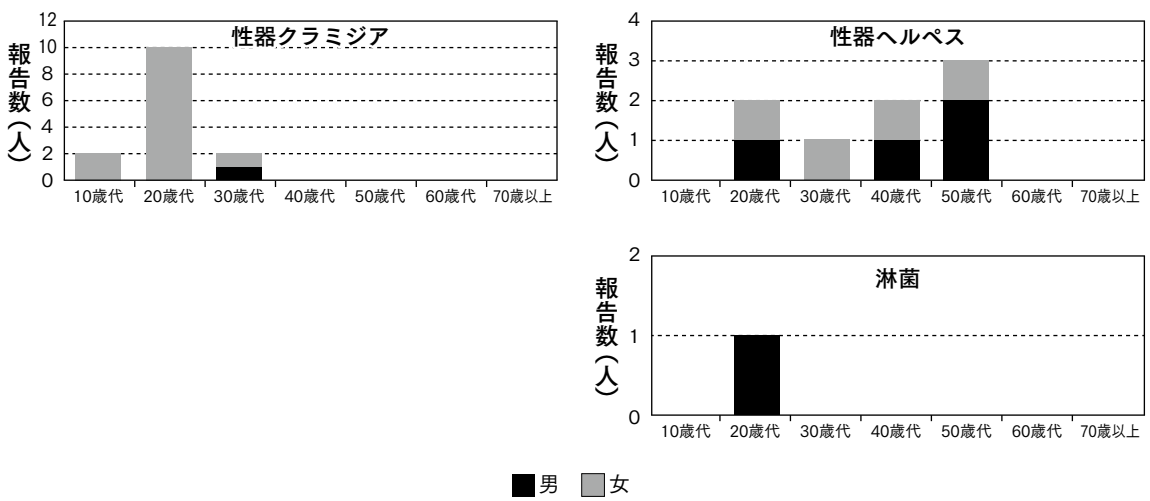
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数14人（1.1）で，前月及び昨年９月の約0.7倍であった。20歳代が全体の約７割を占めた。（男性１人・女性13人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数８人（0.62）で，前月の約0.9倍，昨年９月の約0.7倍であった。（男性４人・女性４人）

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数１人（0.08）で，前月の約0.5倍，昨年９月と同率であった。（男性１人）



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：７

定点医療機関からの報告総数は19人（2.7）で，前月比91％と減少した。また，昨年９月（3.0）の約0.9倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人（2.7）で，前月及び昨年９月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約７割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

日赤だより

【宮崎県赤十字血液センター】

2026年10月１日より 欧州滞在歴 プラセンタ注射薬に関する 献血制限が緩和されました

英国を含む欧州などの滞在歴に基づく献血制限の撤廃およびヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤使用歴に関する献血基準を変更します。

2026年10月１日からの取り扱いについて

◎ 欧州などの滞在歴

vCJD対策として実施してきた滞在歴に基づく献血制限を撤廃します。

◎ 国内承認のプラセンタ注射剤（ラエンネック/メルスモン）

最終使用日から３か月間は献血をご遠慮いただき，３か月経過後は献血可能となります。

※海外からの帰国日（入国日）当日から４週間以内の献血制限など，他の感染症対策や健康状態などに基づく献血基準は引き続き適用されます。なお，最終的な献血の可否は，当日の問診および健診医の判断によります。詳細についてはお問い合わせください。

お問合せ先
宮崎県赤十字血液センター献血推進課
TEL 0985-50-1800（代表）

詳しくは

各郡市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

会 長 中村彰伸（なかむらあきのぶ）

南那珂医師会の会員は，Ａ会員44名，Ｂ会員54名，Ｃ会員１名の計99名で一昨年より３名減少しています。

理事は，今までどおり，河野秀一先生と川西昭人先生に副会長を，井藤健先生に総務担当理事をお願いしています。

公立病院からの理事として県立日南病院：木佐貫篤先生，日南市立中部病院：中津留邦展先生は，今までどおりですが，串間市民病院は，理事不在となりました。今まで串間市民病院からの理事黒木和男先生は，春光会記念病院からの理事として留任いただき，愛泉会日南病院あらため愛泉会宮崎医療福祉センターから峰松俊夫先生と新たに長友安弘先生に理事に加わっていただきました。

また，地区理事として慶明会および中央病院の中西千尋先生に新理事として参加いただき，病院からの理事が増え，病院および勤務医の先生方の意見がこれまで以上に理事会に反映されることが期待されます。

さて当会は，市から日南市初期夜間急病センター運営と休日当番医業務を委託されていますが，夜間急病センターは，365日の運営で，2019年以前は，年間2,000人以上の受診がありましたがコロナ禍以降，急激に受診者が減少し，昨年は，500人程度の受診となりました。運営日について出務する会員の負担や救急指定病院の負担などを理事会で協議し，平日の運営を中止することを決定しました。その旨，市へ提案して来年度からの運営変更が了承されました。

また，日南市は，津波被災リスクの高い市立中部病院の移転と，県立日南病院との共存を図るため，病院機能の分担などを協議する場として「県立日南病院を中心とした公立病院のあり方検討委員会」を立ち上げ，県病院局長や宮崎大学附属病院長に参加いただき協議が開始されています。この協議が当地域にとって良好な結果となるよう，医師会として関わっていきたいと考えます。

皆様方のご指導，ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



南那珂医師会新役員

役員等名簿（任期　令和８年６月５日定例総会終結後～令和10年６月定例総会終結時）

	役職名	氏　名	診　療　科	所属医療機関	担　当　業　務
	会　長	中村　彰伸	眼　科	中村眼科	総　括
	副会長	河野　秀一	内科，呼吸器内科 消化器内科	河野医院	総括補佐，学術・生涯教育
	〃	川西　昭人	脳神経外科，神経内科 リハビリテーション科	かわにし脳神経外科	総括補佐，医事紛争，救急医療，会計，医師国保
	理　事	井藤　　健	耳鼻咽喉科	井藤耳鼻咽喉科	総務，園医，学校医
	〃	黒木　和男	内科，消化器内科	春光会記念病院	病診連携，産業医
	〃	山田　孝俊	内科，小児科	串間中央クリニック	在宅医療，串間在宅ケア研究会
	〃	中津留 邦展	内　科	日南市立中部病院	病診連携，災害対策
	〃	峰松　俊夫	内　科 基礎医学（ウイルス学）	愛泉会宮崎医療福祉センター	宮崎県医師会理事，感染症対策，医療情報システム
	〃	木佐貫　篤	病理診断科	県立日南病院	病診連携
*	〃	井手　秀幸	外科，内科，肛門外科	井手胃腸科肛門科	保険，介護保険，医師国保
*	〃	長友　安弘	内　科	愛泉会宮崎医療福祉センター	急病センター，学校検診（心臓・腎臓）
*	〃	中西　千尋	内科，消化器内科	おび中央病院	在宅医療，日南在宅ケア研究会
	監　事	満留　武宣	眼　科	みつとめ眼科	
	〃	山見　信夫	小児科	山見医院	
	議　長	藤浦　芳丈	循環器内科，内科	藤浦循環器科内科クリニック	
	副議長	岡本　将幸	内科，リウマチ科	シロアム内科医院	

＊新任

各郡市医師会だより

西　諸　医　師　会

会長　園田（そのだ）　定彦（さだひこ）

令和８年６月24日に開催されました定時総会にて，内村大介先生の後任として会長に就任させていただくことになりました。内村前会長におかれましては，10年という長きにわたり本医師会の運営に多大なるご尽力を賜りましたことに深く敬意と感謝を申し上げます。

また，このたびご退任された石澤宗純先生，寺谷威先生，杉原純次先生におかれましても，これまでのご貢献にあらためてお礼申し上げます。

今期より副会長には井尻裕司先生に加えて竹之内剛先生，監事には丸山賢幸先生に加えて内村大介先生にあらためてご就任いただいております。更に新理事として柳邊秀一先生をお迎えし，新体制での運営に努めてまいりたいと存じます。

さて，西諸医療圏では人口減少や高齢化を見据え，効率的で質の高い医療提供体制の構築に向けた地域医療構想が進められています。病床の機能分化や再編が議論される中，退院後の在宅医療を支えるバックアップ体制の確保や在宅療養における意思決定支援は，今後ますます重要になると考えられます。本医師会においても，医療介護連携事業と連携しながら，将来を見据えた取組みを進めてまいります。会員の先生方におかれましても，日頃のご経験をふまえたご提言やご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また，医療・介護関係者をつなぐWEBサイト「結netにしもろ」のブラッシュアップを計画しております。情報の充実や利便性の向上を図り，地域の医療・介護連携を支えるツールとして継続的な改善に取り組んでまいります。

来年秋に宮崎県で開催される国スポ・障スポでは，西諸地域でも複数の競技が行われます。地域の盛り上がりを楽しみにするとともに，医師会としても救護活動などの支援体制に万全を期してまいります。

最後になりますが，医師の働き方改革や持続可能な医療提供体制の維持など，医療を取り巻く環境は刻々と変化しております。地域医療の維持と発展に貢献するため，今後とも一丸となって取り組んでまいりますので，皆様方にはご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西諸医師会新役員

役員等名簿（任期　令和８年６月24日第15回定時総会終結後～令和10年６月第17回定時総会終結時）

	役職名	氏　名	診　療　科	所属医療機関	担　当　業　務
*	会　長	園田　定彦	内科，外科，腎臓内科 消化器内科，整形外科	野尻中央病院	総　括
*	副会長	竹之内　剛	整形外科，リウマチ科 リハビリテーション科	整形外科前原病院	医師連盟，医療事故・紛争，産業医〔産業医部会〕
	〃	井尻　裕司	眼　科	井尻眼科医院	医師国保，税務，会計全般〔県医師会理事〕
	理　事	吉村　雄樹	内科，循環器内科 放射線科	よしむら循環器内科クリニック	総務，保健予防，学術 生涯教育〔心臓検診委員会〕〔内科医会〕
	〃	坪内　斉志	外科，消化器外科	小林市立病院	保険医療，救急医療
	〃	河内　謙介	外　科	えびの市立病院	労災医，自賠責〔労災医部会〕〔勤務医部会〕
	〃	堀　　英昭	内科，外科 消化器外科，乳腺外科	ほりファミリークリニック	在宅医療・介護，時間外急病診療
	〃	楠元　規生	内科，呼吸器内科 リウマチ科，感染症内科	くすもと内科クリニック	地域医療，感染症対策，公衆衛生
	〃	川井田　望	内科，消化器内科 外科，肛門外科 リハビリテーション科	川井田医院	厚生，労務，健康教育〔有床診療所協議会〕
*	〃	柳邊　秀一	小児科，アレルギー科	みまつこどもクリニック	学校保健〔学校医部会〕
*	監　事	内村　大介	精神科	内村病院	
	〃	丸山　賢幸	外科，内科	園田病院	
	議　長	槇　健一郎	内科，呼吸器内科 消化器内科，糖尿病内科	槇内視鏡内科医院	
	副議長	丹　　光明	内科，外科，皮膚科	丹医院	

＊新任

国公立病院だより

宮崎市総合発達支援センター おおぞら

はじめに

宮崎市総合発達支援センターおおぞら診療部では，主に発達障害のある，あるいは発達に気がかりのある未就学児を対象として，発達評価，診断，診療および必要に応じた個別訓練を行っています。診療体制として，小児科は常勤医２名に加え，宮崎大学や外部の先生方のご協力で非常勤医師３名，小児科以外にも精神科，耳鼻科，眼科，整形外科を標榜しています。また，本年は20年間務められた大庭センター長が，重黒木センター長に交代されました。

一方，少子化にも関わらず受診希望者は横ばいで，いろいろな工夫を行っておりますが，現在，初診まで５～６か月程度の待機期間が生じています。この課題への対応として，令和８年度より「外来相談チーム」を立ち上げました。発達障害の診断においては，子どもの発達特性を適切に評価することに加え，保護者がその特性をどのように認識し，受け止めているかという点も重要です。「園から受診を勧められた」「周囲から指摘された」ということを契機に初診に至るケースでは，保護者自身はまだお子さんの特性を十分に把握しておらず，診断に戸惑いや抵抗感を示されることもあります。そこで，待機期間中から保護者の相談を受け，子どもの行動や発達特性を一緒に整理していくことにより，初診までの期間を，単なる「診察を待つ期間」ではなく，保護者が子どもの特性を理解し，今後の支援について考えるための準備期間とできるとよいと考えております。

５歳児健診

宮崎市では令和７年度より５歳児健診が始まり，当院からは２次健診後の専門相談に小児科医や，公認心理師，作業療法士，言語聴覚士を派遣し，発達面や行動面に気がかりのあるお子さんの評価および保護者相談を行っています。

５歳児健診の特徴は，診断や療育へつなげることを目的とするのではなく，就学を見据えて，子どもの特性，「得意なこと」「苦手なこと」を保護者や園と共有し，就学後のその子にとって必要な環境調整や配慮につなげていく点にあります。

健診後には，心理師による保護者教室の他，集団場面における子どもの行動や対人関係を多職種で把握し，園での支援につなげるための教室などが実施されています。また，専門相談には教育関係の先生方にも参加していただいています。

５歳児健診で得られた情報を小学校と共有し，診断がなくても通常学級においても必要な合理的配慮や環境調整を受けられるとよいと思われます。

発達特性と親子関係への支援

発達障害の特性もあり，愛着に困難のあるケースも見られます。当院を受診される保護者は，子どもに一生懸命関わっておられます。しかし，子どもの特性や保護者の子育てスキルなどによって「どのように声かけをすればよいのかわからない」「関わり方がわからない」といった困難を抱えていることがあります。

このようなケースに対して，当院では２年前よりPCIT（Parent-Child Interaction Therapy：親子相互交流療法）およびCARE（Child-Adult Relationship Enhancement：子どもと大人の絆を深めるプログラム）に取り組んでいます。

PCITは，親子の相互関係に介入するエビデ

ンスに基づいた心理療法です。マジックミラーを備えた治療室で親子に遊んでもらい，その様子を治療者が観察しながら，イヤホンを介して保護者にリアルタイムで具体的な関わり方を伝えます。親子の相互作用をその場で評価しながら，保護者の養育スキルを強化していくことが特徴です。

保護者には毎週の来院によるセッションに加え，家庭で毎日５分間子どもと遊ぶホームワークに取り組んでいただく必要がありますが，親子関係の改善とともに，子どもの行動上の問題が減少するなど，臨床的な効果が認められています。

一方で，医療側にとっては，PCITの実施にあたり，毎週数時間の治療セッションを必要とし，１ケース終了まで半年以上要することもあります。また，診療報酬上の問題もあります。それでも，親子関係への早期介入によって，子どもの行動上の問題だけではなく，養育者の自己効力感や親子双方の相互作用が改善し，その後の発達過程における二次的な困難を少しでも減らすことができればと考えています。

CAREについては，保護者自身が子どもとの関係をよりよいものにしていくための具体的な子育てスキルを学ぶペアレンティングプログラムです。当院では心理師もファシリテーター資格を取得し，今後臨床への導入を進めていこうと思っております。

発達支援について

また，当院では上記のような新しい治療だけではなく，通常の診療や訓練の中でも発達特性を「治す」ことを目標とせず，「子どもの『やってできた』を増やすこと」と「困ったときに相談できる力を育てること」を目指しています。そのことが，子どもたちが，その子どもらしく二次障害なく生活していけることにつながると考えています。

発達支援において，当院だけでできることには限りがあります。今後も，地域の医療機関の先生方をはじめ，保健，福祉，教育，保育の関係機関と連携させていただきながら，一人ひとりの子どもとそのご家族にとってよりよい支援を提供できる体制づくりに努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

診療所長　麻田（あさだ）　智子（ともこ）



宮崎市総合発達支援センターおおぞら

宮崎大学医学部だより

機能制御学講座
－統合生理学分野－



高宮（たかみや） 孝悟（こうご） 教授

当講座では，高宮考悟を教授として，若園佳彦准教授，緑川良介助教（医学部講師），内田琢助教の教員・研究スタッフと研究者育成コースの医学部学生４人が，医学教育と神経科学研究に取り組んでいます。神経系がどのように情報を伝達し，学習・記憶などの高次脳機能を生み出すのかを，分子・細胞・シナプスから個体レベルまで幅広く理解することを目指しています。

教育面では，医学部医学科の神経・筋肉生理学系統講義，神経疾患と基礎医学とを結びつける神経科学講義および神経生理学実習などを担当しています。単なる知識の習得にとどまらず，神経細胞の電気的性質，シナプス伝達，感覚・運動系，高次脳機能について，基礎医学から臨床医学へとつながる形で理解できる教育を重視しています。また，研究室配属などを通じて学生が実際の研究に触れ，自ら疑問を持ち，それを実験によって検証する科学的思考を身につけることも重要な教育目標としています。

研究の中心テーマは，脳における興奮性シナプス伝達とシナプス可塑性の分子機構です。特に，学習・記憶に重要なAMPA型グルタミン酸受容体（AMPAR）に注目し，受容体の翻訳後修飾，細胞膜上での局在や動態，脂質ラフトとの相互作用がシナプス機能をどのように制御するかを研究しています。電気生理学，生化学，分子・細胞生物学，イメージング，遺伝子改変マウスおよび行動解析を組み合わせ，分子レベルの変化が記憶・学習に至るまでの仕組みを明らかにしようとしています。

最近の研究では，AMPARを構成するGluA1サブユニットのわずか１か所，N401に付加されるＮ型糖鎖が，受容体機能のみならずシナプス可塑性と記憶の維持を制御することを明らかにし，PNAS（米国科学アカデミー紀要）に発表しました。N401糖鎖を失ったGluA1は脂質ラフトへの局在が増加し，神経活動後の受容体内在化が促進されます。更に，N401糖鎖を欠損させたノックインマウスでは，海馬シナプスの長期増強（LTP）の維持と長期的な記憶が障害されました。この研究は，細胞外に存在するたった一つの糖鎖修飾が，スイッチのようにして働き受容体の膜上での挙動を介してシナプス可塑性，更には記憶の持続性にまでつながることを示すものです。

現在は，こうした基礎研究を更に発展させ，AMPA受容体の機能異常と神経発達障害やAlzheimer病などの神経疾患との関連についても研究を進めています。

専門分科医会だより

（整形外科医会）



黒木（くろぎ） 隆男（たかお） 会長

令和８年より宮崎県整形外科医会会長に就任しております黒木隆男です。宮崎県医師会会員の皆様ご指導のほどお願い申し上げます。

令和８年度でございますが，副会長には坂本康典先生，理事に公文崇詞先生（延岡），大平卓先生（日向），飯田博幸先生（都城），黒木修司先生（宮崎大学），坂田勝美先生（宮崎），松本英裕先生（西都）が選出され，監事には尾田朋樹先生（宮崎），福嶋秀一郎先生（宮崎）が選出されました。

評議員には，三股恒夫先生（日向），栗原典近先生（延岡），神薗豊先生（宮崎），黒木龍二先生（宮崎），作良彦先生（宮崎），獅子目亨先生（宮崎），松田虎洋先生（日南），池之上貴先生（都城），竹之内剛先生（小林），亀井直輔先生（宮崎大学），田島卓也先生（宮崎大学），中村嘉宏先生（宮崎大学）が選出されました。

宮崎県整形外科医会の会員数は現在Ａ会員78名，Ｂ会員147名の合計225名であります。宮崎県整形外科医会で行われる主な活動としまして次のものがあります。

１）全国整形外科保険審査委員会議

例年９月に品川の東京カンファレンスセンターで，審査基準の平準化と全国審査機関の啓発を目的として，日本整形外科学会，日本臨床整形外科学会，日本整形外科勤務医会の３学会によって開催されています。昨年度は９月７日にWebおよび現地参加のハイブリッドで開催されました。７名の審査委員の先生方に参加いただいております。

２）宮崎県整形外科医会研修会

昨年は令和７年11月８日㈯に開催されました。本研修会は，９月の全国整形外科保険審査委員会議の結果をふまえまして，宮崎県における保険審査基準を説明する会であります。社保審査委員からは黒木修司先生，国保審査委員からは濱田浩朗先生（宮崎）が講師として出席されました。また，同時に特別講演としまして，宮崎大学医学部整形外科助教の永井琢哉先生に『高齢者の脊椎診療（骨粗鬆症も含めて）』をお話ししていただきました。

３）市民公開講座

令和７年10月５日㈰に開催されました。本講座は宮崎大学整形外科教室が中心になり毎年10月に開催されます。聴衆は一般市民です。整形外科の講師は４名で，１名が30分ずつお話しされます。県整形外科医会からは川越正一先生，石田康行先生が講師を務められました。

４）『生きる力』を育む健康教育充実事業

この事業への講師派遣は宮崎県教育庁からの依頼で，宮崎県の小学校，中学校，高等学校に整形外科講師を派遣しています。令和７年度は10月23日に延岡市恒富中学校にて，公文崇詞先生（延岡）に講演をお願いしました。

５）宮崎日日新聞生活情報誌『きゅんと』の執筆協力

整形外科が担当する枠が１年に２回あります。昨年度は川越正一先生に執筆していただきました。

６）委員会，審議会委員の推薦

宮崎県社会福祉審議会委員として，福嶋麻里先生（宮崎）にご留任していただきました。宮崎県医師会各種委員会委員には大平卓先生（日向），飯田博幸先生（都城），黒木浩史先生（宮崎），福嶋秀一郎先生（宮崎），麻生邦典先生（宮崎）のご留任をいただきました。

国内，海外ともに激動の時代です。各地にて激甚災害が多発しています。こういう時代だからこそ協力，協調が大事だと考えます。最後に県医師会会員の先生方のご健勝をお祈り申し上げます。

－各種委員会－

医学会誌編集委員会

と　き　令和８年９月９日㈬
ところ　県医師会館，Web（Zoom）

大友理事の司会により開会，小牧副会長の挨拶の後，任期満了による委員改選を報告した。続いて，甲斐委員長の進行で協議が行われた。

第50巻第２号に掲載予定の論文について，掲載の可否とカテゴリーの検討が行われ，総説２編，症例５編，論説１編，クリニカルカンファレンス１編の掲載が決定した。

編集後記の執筆者は，甲斐委員長と中村委員に決定した。

次に，第51巻１号総説の執筆依頼について，宮崎大学医学部総合診療医学講座　佐土原道人教授，宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野　池之上辰義教授へ依頼することが承認された。

また，投稿規程の改訂について協議が行われ，引き続き協議をすることとなった。



出席者
県医師会館－甲斐委員長，松尾副委員長，
中谷・黒木・黒岩・河野・
濵川・細川委員
Web（Zoom）－久保・谷口・中村・武田・
川越・菊池・峰松委員
（県医）－小牧副会長，市来・田畑常任理事
大友理事，久永次長，松﨑主事

10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2026年10月１日～10月25日

1	幽冥の岸	小野不由美	新潮文庫
2	俺たちの箱根駅伝㊤㊦	池井戸潤	文春文庫
3	アラームが鳴らないうちに	川口俊和	サンマーク出版
4	ずる賢い人のための億万長者入門	佐野Mykey義仁	KADOKAWA
5	80代になるとたいていボケるか死ぬ 70代は神様から与えられた特別な時間	林真理子	幻冬舎新書
6	さまよう刃 新装版	東野圭吾	角川文庫
7	永遠の記憶	東野圭吾	文藝春秋
8	マイブック 2027年の記録	大貫卓也	新潮文庫
9	白鳥とコウモリ㊤㊦	東野圭吾	幻冬舎文庫
10	100日後に英語がものになる１日10分 ネイティブ英語書き写し	ブレット・リンゼイ	サンマーク出版

明林堂書店調べ　提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985)56-0868

－各種委員会－

健康スポーツ医学委員会

と　き　令和８年９月15日㈫
ところ　県医師会館，Web（Zoom）

大塚常任理事の司会により開会，河野会長の挨拶に続き，本会全理事協議会において本委員会委員長に帖佐悦男先生，副委員長に松村隆先生と田島卓也先生の就任が承認されたことが報告された。次に小牧副会長から諮問事項「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会への対応について」が示され，任期中に協議・答申することとなった。その後，帖佐委員長の進行で報告・協議が行われた。

報　告

１　健康スポーツ医学セミナーについて

講演は，国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に関するテーマで，令和７年10月10日㈮に開催した。現地14名，Web26名の合計40名の参加があった。

２　令和７年度県民健康セミナーについて

「健康寿命，日本一を目指そう！～社会参画を図る～」をテーマに令和７年11月９日㈰に開催した。現地40名，Web24名の合計64名の県民の参加があり大変好評であった。

協　議

１　諮問事項「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会への対応について」

意見交換を行った。

２　令和８年度健康スポーツ医学セミナーについて

来年開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を見据え，内容を検討した結果，令和７年度開催県である滋賀県の医師会および行政関係者を招き，それぞれの立場から大会開催に向けた取組みや課題についてお話を伺う方向で調整することとなった。



３　令和８年度県民健康セミナーについて

昨年同様，健康スポーツ医学委員会から１題，健康教育委員会からの２題，計３題の講演を行うこととし，健康スポーツ医学委員会からのテーマ案を検討した結果「水泳」に関する内容とすることが決定された。

４　宮崎県スポーツドクター連盟について

令和７年度の歳入歳出決算，令和８年度事業計画・予算について協議し承認された。

出席者
県医師会館－帖佐委員長，松村・田島副委員長
　　宮永・栁田・名越・比嘉・山﨑委員
（県医）－小牧副会長，大塚・田畑常任理事
　　河原理事，久永次長，松﨑主事

－各種委員会－

健康教育委員会

と　き　令和８年９月25日㈭
ところ　県医師会館，Web（Zoom）

岡村理事の司会により開会，河野会長の挨拶に続き，本会全理事協議会において本委員会委員長に中山健先生，副委員長に福井信介先生の就任が承認されたことが報告された。次に河野会長から諮問事項「県民への効果的な健康教育の推進について」が示され，任期中に協議・答申することとなった。その後，中山委員長の進行で報告・協議が行われた。

報　告

１　令和７年度県民健康セミナーについて

「健康寿命，日本一を目指そう！～社会参画を図る～」をテーマに令和７年11月９日㈰に開催した。現地40名，Web24名の合計64名の県民の参加があり大変好評であった。

２　令和７年度健康教育事業について

本会，各郡市医師会，各専門分科医会が行った健康教育事業について報告を行った。令和７年度の実績は，各郡市医師会が60件，各専門分科医会が77件であった。本会は，宮日生活情報紙「きゅんと」や宮日ホームマガジン「rapia（ラピア）」，宮崎日日新聞生活情報面「教えてドクター」，ロコモ予防運動推進事業などを通して県民の健康保持増進や疾病に対する正しい知識の啓発に取り組んだ。

３　令和７年度健康教育事業費補助事業について

平成26年度から開始した同補助事業について説明があった。各郡市医師会，各専門分科医会およびこれらに準ずる県内の医師で構成する団



体が健康教育事業を実施した際，経費を補助することで県民の健康の保持増進に寄与することを目的としている。来年度もこの事業を行うことを説明し，開催を検討していただくよう依頼した。

協　議

１　令和８年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

昨年同様，健康教育委員会からの２題，健康スポーツ医学委員会からの１題，計３題の講演を行うこととし，健康教育委員会からのテーマ案を検討した結果「睡眠時無呼吸症候群」，「肥満症」に関する内容とすることが決定された。

２　諮問事項「県民への効果的な健康教育の推進について」

意見交換を行った。

出席者
県医師会館－中山委員長，福井副委員長
宮尾・中津留委員
Web（Zoom）－眞柴・中尾・甲斐・杉尾委員
（県医）－河野会長，小牧副会長，岡村理事
久永次長，松﨑主事

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和９年１，２月号に企画いたしております。このコーナーは大変好評ですので，奮ってご投稿をお願いいたします。

題　材　医事評論，診療閑話，身辺雑記，詩歌，俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど（１枚程度，カラー印刷はできません）

字　数　800字程度（字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締　切　令和８年12月４日㈮

宛　先　宮崎県医師会広報委員会

◎　原稿には「新春随想」と明記してください。
◎　掲載については，広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
◎　掲載はおひとり，１編とさせていただきます。
◎　ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせください。
◎　原則として，原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
◎　日州医事は，会員以外（マスコミ・行政・図書館など）にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス（genko@miyazaki.med.or.jp）宛にお送りください。もちろん，それ以外の方法（FAX，郵便など）でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先
宮崎県医師会広報委員会　新春随想係
E-mail：genko@miyazaki.med.or.jp
〒880-0023 宮崎市和知川原１丁目101
FAX 0985-27-6550　TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は，他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル，ご氏名を明記のうえお送りください。

日医インターネットニュースから

■JMAT派遣，延べ500チーム・2004人に
― 日医，30日で活動終了 ―

日医は９月30日の定例会見で，2026年熊本地震における，JMAT（日医災害医療チーム）活動を同日で終了すると発表した。地震が発生した７月28日の翌日に先遣JMATを派遣し，派遣数は延べ500チーム・2004人に上った（最終的な数値は精査中）。救急災害医療を担当し，今回の熊本地震で日医JMAT本部長を務めた藤原慶正常任理事は，「（発災後からの）約２カ月間，JMATの活動理念に沿った支援が組織立って行えた」との認識を示した。

八代地域活動拠点では９月24日に，宇城地域活動拠点では27日に，支援JMATの活動がそれぞれ終了し，30日に熊本県医師会の被災地JMATも活動終了を見込んだ。

藤原氏は，組織立った支援が行えた理由として，▽全国の都道府県医師会と毎日ウェブミーティングを開催し，統括JMATや熊本県医からの報告を共有できたこと▽１つの医師会で編成したJMAT，複数の医師会が協力し編成したJMAT，ブロック単位で編成したJMATを調整して派遣することができたこと ― の２点に言及した。

一方，「喫緊の課題」として，病院や有床診療所については広域災害・救急医療情報システム（EMIS）により被災状況を把握しやすいのに対し，無床診療所は被災状況の把握が難しく，医師会事務局による情報収集のための負担も大きいことを挙げた。現在，厚生労働省と対応策について検討中と説明した。

●「災害前とほぼ同レベルまで復旧」

松本吉郎会長は，「残念ながら，閉院や休診となった医療機関もあるが，被災地の医師会や地元医療機関の懸命な努力により，災害前の医療体制とほぼ同じレベルまで復旧していると聞いている」と報告。全国からのJMAT派遣が迅速に行えたのは，「各都道府県医師会をはじめ，関係者のご協力のおかげ」と謝意を表明した。

「大規模災害などの有事に対応できる強靱さ（レジリエンス）を備えた，医療提供体制の構築が重要」と指摘し，27年度予算要求要望にも盛り込んでいることを説明した。

（令和８年10月２日）

■かかりつけ医機能，報告率80.9％
― 今年８月時点，厚労省 ―

厚生労働省は９月28日までに，2025年４月から始まった「かかりつけ医機能報告制度」の報告状況を公表した。対象11万4437施設のうち，報告を行ったのは９万2545施設で，報告率は80.9％だった（今年８月17日時点）。

対象は，G-MIS（医療機関等情報支援システム）アカウント発行済み医療機関のうち，歯科診療所，特定機能病院を除く施設。

医療機関が報告した内容は，医療情報ネット（ナビイ）に掲載される。厚労省は「今回，一定程度の報告率が積み上がった」と評価し，国民にナビイの活用を呼びかけている。

（令和８年10月２日）

■インフル・コロナワクチン，効率使用を
― 厚労省 ―

厚生労働省は９月16日付の通知で，季節性インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの安定供給に向け，医療機関に効率的にワクチンを使用することなどを要請した。

ワクチンの予約・注文を行う場合は「接種希望者から申し込みがあった段階で必要に応じて行うことが望ましい」とした。さらに「接種シーズン終盤まで在庫ワクチンを抱え，その後返品を行うことは安定供給の妨げになる」として，返品を前提とした注文や在庫管理を行わないよう求めた。

供給量については，インフルワクチンが約5190万回分で，近年の使用量を超える見込み。コロナワクチンも昨年度の使用量を超える約702万回分を見込んでいる。

通知の題名は「季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの供給等について」。医療機関のほか，卸売販売業者や都道府県にも，安定供給に関する対策を求めている。

（令和８年10月２日）

■出産無償化へ視点を整理，新検討会始動
― 12月取りまとめ ―

厚生労働省は10月１日，「妊娠・出産・産後における診療やケアの内容等に関する検討会」（座長＝岩村正彦・東京大名誉教授）の初会合を開いた。出産費用の無償化に関する新たな制度の施行に向け，関連する診療・ケアの体制や内容を議論し，基本的な視点を整理する。12月に取りまとめを行う。

新制度は地域の周産期医療提供体制の維持と，妊婦の経済的負担の軽減が目的。標準的な分娩について全国一律の基本単価を設定し，保険者から施設に直接支給する。人員体制や地域の役割などを評価する加算も設ける。

検討会は社会保障審議会・医療保険部会や中医協で具体的な議論を進めるための「素地をつくる役割」（厚労省）を担う。現場の実情を踏まえた出産にかかる費用を網羅的に分析・整理していく。給付水準については医療保険部会を中心に検討し，加算の算定要件などは中医協で議論する予定。厚労省によると「最終的な分娩費の具体的な費用は中医協で審議し，諮問・答申」となる。

検討会では，今年度の厚生労働科学研究で実施した，医療経済実態調査の“産科版”ともいえる分娩取扱施設の経営状況調査の結果なども示す予定。それらも踏まえて給付水準や施設基準などを具体化させるための基本的な考え方をやりとりする。

●石渡氏，基本単価「75万円以上を」

同日は関係者へのヒアリングを行った。石渡勇構成員（日本産婦人科医会長）は，同医会が行った推計によると，標準的な正常分娩の１分娩当たりの基本単価は75万円以上が必要になると訴えた。

将来の分娩数の減少幅や，人件費や物価動向などを踏まえて推計したところ，28年の出産に必要な原価はおよそ71.6万円。利益率３％と産科医療補償制度掛け金（１万2000円）を加えると，合計で約75万円となった。新たな給付水準の設定に当たっては，インフレや少子化の進行に合わせた見直しを行う「柔軟な調整メカニズム」の導入も必要ではないかと訴えた。

濵口欣也構成員（日医常任理事）はこれを受けて「現場の切実な声。自由診療の中で運営していた分娩施設が新たな給付体系に移行したことで立ち行かなくなると，地域の周産期医療提供体制の崩壊につながりかねない」と述べた。

新制度を盛り込んだ改正健康保険法は６月に公布されており，施行は公布後２年以内となっている。

（令和８年10月６日）

■医業収益DI，一般病院は改善
― WAM，９月調査 ―

福祉医療機構は10月５日までに，2026年９月の病院経営動向調査結果を公表した。医業収益のDI（景気変動の判断指標）は，一般病院が51で６月の前回調査から54ポイント上昇した。療養型病院は35（前回から29ポイント上昇），精神科病院は26（33ポイント上昇）だった。

調査の有効回答数は240病院だった。医業収支のDIは一般病院がマイナス２（36ポイント上昇），療養型病院18（３ポイント上昇），精神科病院マイナス12（９ポイント低下）だった。

経営上の課題（複数回答）で最も多かったのは，いずれも「人件費の増加」。一般病院は73.2％（5.1ポイント増），療養型病院は74.5％（1.5ポイント増），精神科病院は67.4％（13.6ポイント増）だった。

152医療法人の回答では，事業収益DIは36（35ポイント上昇），事業収支DIは８（19ポイント上昇）となった。

（令和８年10月９日）

日医インターネットニュースは，日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。
日本医師会（http://www.med.or.jp/）＞メンバーズ＞日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）
◆パスワード：生年月日の「西暦の下２桁，月２桁，日２桁」の６桁の数字（半角）

医師協同組合だより

病気やケガによる休診への備えは十分ですか…？

突然の病気やケガで先生が倒れてしまい、万が一、
休診せざるを得なくなってしまったら…



頼ってくれる患者さんに迷惑をかけてしまう・・・
従業員にも負担をかけてしまう・・・
休診中の診療所維持にかかる費用はどうしよう・・・
うつ病で仕事ができなくなったら・・・
地震でケガをして仕事ができなくなったら・・・

所得補償保険で先生のご不安を解決します！

宮崎県医師協同組合が取り扱う全国医師協同組合連合会の「所得補償保険」は、先生が病気やケガで休診された場合の所得を補償する保険です。精神障害・気分障害・地震等天災によるケガに起因する就業不能も補償対象です。



●月々の生活費
●休診時の職員給与
●クリニックのローン・医療機器賃貸料などの必要経費
など、休診時でも発生する費用を保険でサポートします。



医療保険などでは補償されない自宅療養期間（医師の指示に基づくもの）についても補償の対象となります。

✓ **団体割引30％適用。**

✓ **さらに、保険金のご請求がなかった場合、保険料の20％をお返しします。**

（注）保険期間中に保険金をお支払いすべき就業不能の発生がなかったときは、保険料の20%を「無事故戻し返れい金」として、ご契約者にお返しします。保険期間途中で解約された場合は、無事故戻し返れい金はお支払いしません。
このご案内は所得補償保険の概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

【取扱代理店】

宮崎県医師協同組合
〒880-0023　宮崎市和知川原1丁目101番地
（宮崎県医師会館内）
TEL　0985-23-9100：FAX　0985-23-9179
（受付時間　：平日の午前9時から午後5時まで）

【引受保険会社】

損害保険ジャパン株式会社　宮崎支店　法人支社
〒880-0805　宮崎市橘通東５-３-１０
TEL　050-3798-1930：FAX　0985-26-6112
（受付時間　：平日の午前９時から午後５時まで）

SJI26-13242　2026.9.14

日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 /
会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員の皆様へ

日医ペイハラ・ネット相談窓口を開設しました!

ご相談はこちらから!



日本医師会ペイシェントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口

昨今、インターネット上(Google Map等の口コミやSNS等)で悪質な書き込み被害が増加しており、対応に苦慮している先生方や医療機関も多くあることと存じます。2024年10月に会員向けに実施したアンケート調査では、総回答数4,730のうち、Google Mapやその他の医療機関検索サイト、SNS等でご自身の医療機関に対する誹謗中傷等の書き込みをされた医療機関が約8割という結果でした。このような状況を踏まえ、SNS等の誹謗中傷に関する書き込みをはじめ、医療機関内でのペイシェントハラスメント全般に関する相談窓口を創設いたしました。

相談料**無料**・回数制限**なし**

このような場合にご相談いただけます!



事例1
医療上の指示・指導などの受け入れを拒否され、怒鳴られるなど暴言を受けた。



事例2
インターネットやSNSで誹謗中傷・脅迫をされた。

お気軽にご相談ください!

制度対象者	日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 / 会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員
相談内容	インターネット上での悪質な書き込みを含むペイシェントハラスメント全般
相談受付方法	WEBフォーム・電話

●ご相談に際しては会員確認をさせていただきます。会員本人以外からのご相談の場合(会員が開設・管理している医療機関の医療従事者等の場合)は、勤務先の医療機関の開設者または管理者が会員であることを事前にご確認いただくようお願いいたします。
●無料で回数制限等なくご相談いただけます。

WEBフォーム
https://forms.gle/GgKkT837gCyfiVgL6
※受付の当日または翌営業日以降に相談窓口より電話またはメールにてご連絡いたします。お問い合わせの対応状況により、数日お時間を頂戴する可能性がございます。

電話
0120-830-870
電話受付時間:平日9時～18時
※ネット上の誹謗中傷等の書き込みの場合は、該当箇所を確認するため、WEBフォームにて関連のURL等をご記載ください。

このご案内は概要の説明となります。詳しい内容については下記をご確認ください。

〈日医ペイハラ・ネット相談窓口の詳細について〉
日本医師会ホームページおよびメンバーズルームをご覧ください。
https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota_etc/011988.html

〈日医ペイハラ・ネット相談窓口全般に関するお問い合わせ先〉
日本医師会情報システム課
TEL:03-3942-6135　FAX:03-3946-6295
MAIL: josys@po.med.or.jp



令和８年９月１日㈫ 第６回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．本会外の役員等の推薦について

①児童精神医療体制にかかる検討会議における委員の推薦について

→児童精神医療体制の強化を図るために新たに設置される検討会議委員の推薦依頼があり，井上理事を推薦することが承認された。

２．業務委託について

①令和８年度緩和ケア研修事業の委託契約について

→緩和医療に携わる医療従事者を対象に，緩和ケア全般にかかわる内容や地域連携，在宅緩和ケアの内容を取り入れた研修会を開催する事業で，委託契約を締結することが承認された。

３．後援・共催名義等使用許可について

①11/７㈯（県立看護大学）「いいお産の日in宮崎」の名義後援について

→「楽しい育児を創造しよう」をテーマに開催されるイベントで，名義後援を行うことが承認された。

４．令和８年度公衆衛生事業功労者表彰（厚生労働大臣表彰）候補者の推薦について

健康増進，疾病予防，生活衛生，衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で，４名を推薦することが承認された。

５．令和８年度西予市（せいよし）おイネ賞事業「全国女性医師部門」候補者推薦依頼について

医学研究や医療活動に貢献し，今後の更なる活躍が期待できる女性医師を表彰するための推薦依頼で，１名を推薦することが承認された。

６．９/24㈭（県防災庁舎）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会いについて

３医療機関を対象に行われる新規個別指導と個別指導で，山中理事を立会人として派遣することが承認された。

（報告事項）

１．週間報告について

２．８月末日現在の会員数について

３．８/28㈮（宮大）宮大学長選考・監察会議について

４．８/31㈪（アートホテル）宮崎市郡医師会救急告示医療機関連絡協議会について

５．８/28㈮（県医）学校医部会総会・医学会について

６．８/27㈭（県医）組織強化・将来構想委員会について

７．８/29㈯（県医）日医シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”in KYOTO」について

８．７/12㈰・８/30㈰（県医）人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について

９．９/１㈫（県医）県グループホーム連絡協議会理事会について

10．令和８年熊本地震における宮崎県JMAT派遣について

11．８/29㈯（シーガイア）保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会について

令和８年９月８日㈫ 第11回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．業務委託について

①令和８年度広域インフルエンザ及び新型コロナウイルス定期予防接種（Ｂ類疾病）の業務委託契約について

→高齢者のインフルエンザ及び新型コロナウイルス定期予防接種について，圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので，契約を締結することが承認された。

②令和８年度高次脳機能障がい講演会業務の委託契約について

→高次脳機能障がいに関する診断技術の向上を目的に講演会を開催する事業で，契約を締結することが承認された。

２．後援・共催名義等使用許可について

①11/21㈮県介護支援専門員協会研究大会名義後援について

→「ケアマネジメントの進化～制度から暮らしへ視点を還る～」をテーマに開催される研究大会で，名義後援を行うことが承認された。

②R9.１/22㈮・23㈯（メディキット県民文化センター）日本循環器理学療法学会学術大会の名義後援について

→「クロスロード～これまでの10年，これからの10年～」をテーマに開催される学術大会で，名義後援を行うことが承認された。

３．９/29㈫（県医）各郡市医師会長協議会の提案事項に対する対応について

都城市北諸県郡医師会からの提案事項①は金丸副会長，②は大塚常任理事，延岡市医師会からの提案事項は，落合常任理事が回答することが承認された。

４．10/20㈫（日医）故 羽生田俊元日本医師会副会長お別れの会のご案内について

河野会長と金丸副会長が出席することが承認された。

５．資金の運用について

「会館補修費（第二次）積立資産」と「退職給付引当資産（職員）」について，国債を購入することが承認された。

６．県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

感染症発生動向調査事業に協力をする指定届出機関の後任の推薦について，小児科標榜医療機関１件を推薦することが承認された。

７．11/９㈪（県防災庁舎）新興感染症危機管理対応訓練（入院調整訓練）に係る講評について

新興感染症危機管理対応訓練（入院調整訓練）において講評を行う医師の派遣依頼があり，峰松理事を推薦することが承認された。

８．県医師会主催産業医研修会の非会員の受講料について

案のとおり，令和８年10月以降の県医師会主催の産業医研修会について，非会員の受講料を5,000円とすることが承認された。

９．10/22㈬（日医）第47回産業保健活動推進全国会議の開催について

産業保健活動の在り方等を検討することを目的に開催される全国会議で，山中理事の出席と郡市医師会に案内することが承認された。

（報告事項）

１．９/３㈬（県防災庁舎）県立病院事業評価委員会について

２．９/２㈬（県医）九州学校検診協議会専門委員会（心臓部門）について

３．９/２㈬宮崎大学医学部との組織強化に関する意見交換会について

４．９/３㈬（県福祉総合センター）県福祉サービス運営適正化委員会について

５．令和８年熊本地震における宮崎県JMAT派遣について

６．８/27㈬（県防災庁舎）社会保険医療担当

者の新規個別指導及び個別指導について

７．８/31㈪（県医）ワークインライフ委員会について

８．８/29㈯（県医）産業医研修会（前期）について

９．９/３㈬（県庁）地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会について

10．８/26㈬（宮崎労働局）労災診療指導委員会・労災部会理事会について

11．９/５㈮（県医）県医師会医学会について

12．８/26㈬（県防災庁舎）県周産期医療協議会について

医師連盟関係

（議決事項）

１．９/27㈰河野しゅんじ後援会会長会議の開催について

河野委員長が出席することが承認された。

２．10/20㈫（日医）日医連執行委員会の開催について

河野委員長と金丸常任執行委員が出席することが承認された。

３．10/24㈮（宮観ホテル）自民党県連ランチミーティング並びに宮崎経済フォーラムのご案内について

河野委員長が出席することが承認された。

（報告事項）

１．８/29㈮（宮観ホテル）赤澤経済産業大臣との意見交換会・講演会について

令和８年９月29日㈪ 第12回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．業務委託について

①令和８年度外国人患者受入れ環境整備推進セミナー事業の委託契約について

→外国人患者の受入れ体制整備に必要な知識を学ぶためのセミナーを開催する事業で，契約を締結することが承認された。

②令和８年度HTLV-1（ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型）母子感染対策事業に係る業務の委託契約について

→HTLV-1の母子感染を減らすことを目的に，HTLV-1キャリアの実態調査や研修会等を実施する事業で，契約を締結することが承認された。

２．日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について，有床診療所委員会に河野会長が，医師会共同利用施設検討委員会に赤須常任理事が，広報委員会に大塚常任理事が就任することが承認された。

３．令和８年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著な方に対する表彰で，５名を推薦することが承認された。

４．10/21㈫（宮崎市郡医師会館）宮崎市郡医師会しののめ医学会特別講演会への講師派遣について

外来感染対策向上加算に関する講演会で，金丸副会長を派遣することが承認された。

５．県医師会会員名簿の作成について

案のとおり，冊子作成は行わず，今回から会員専用ホームページに掲載していくことが承認された。

６．11/28㈮（ニューウェルシティ宮崎）各郡市医師会等職員研修会の開催について

案のとおり，県医師会及び各郡市医師会（関連団体含む）の事務職員を対象とした研修会を開催することが承認された。

７．会費減免申請について

出産育児による日医・県医会費減免１名の申請が承認された。

８．宮崎県医師会特別会費について

令和９年11月の会館返済資金負担金の終了に合わせ，令和９年12月から引き続き同額を特別会費として徴収することが承認された。

９．県立看護大学卒業生の動向調査の実施について

県立看護大学卒業生が本県の保健・医

療・福祉分野で果たしてきた役割や貢献の評価・分析を行うため実施される調査で，会員医療機関への調査に協力することが承認された。

10. 県医師会警察活動協力医部会の設立について

死体検案研修会の企画・運営を委託すること，並びに，会員を十分に確保し安定した運営ができるまでの間，特別補助金を支給することが承認された。

11. 10/８㈭（県防災庁舎）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

２医療機関を対象に行われる個別指導で，中島理事を立会人として派遣することが承認された。

12. 10/22㈭（県防災庁舎）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

１医療機関を対象に行われる個別指導で，峰松理事を立会人として派遣することが承認された。

13. 10・11月の行事予定について

（報告事項）

１．週間報告について

２．９/15㈫（日医）都道府県医師会長会議について

３．９/16㈬（支払基金）支払基金審査運営協議会について

４．９/17㈭（県防災庁舎）社会保険医療担当者の集団的個別指導について

５．９/28㈪（県医）園医部会総会・研修会について

６．令和８年熊本地震への医療支援金について

７．９/15㈫（県医）健康スポーツ医学委員会について

８．９/18㈮（宮観ホテル）宮大未来の医療を語るオールみやざき交流会について

９．９/24㈭（国保連合会）県国保等はり，きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

10. 令和８年熊本地震における宮崎県JMAT派遣について

11. ９/14㈪・24㈭（県医）広報委員会について

12. ９/25㈮広報委員会勉強会について

13. ９/24㈭（県医）医療機関勤務環境改善セミナーについて

14. ９/24㈭（県防災庁舎）社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導について

15. ９/29㈫（宮崎合同庁舎）宮崎県地域両立支援推進チーム（協議会）について

16. ９/９㈬（県医）医学会誌編集委員会について

17. ９/24㈭（県医）県との妊婦健診等に関する協議会について

18. ９/17㈭（県医）県有床診療所協議会総会・講演会について

19. ９/25㈮（県医）健康教育委員会について

医師連盟関係

（議決事項）

１．10/３㈯（鹿児島）九州医連連絡会第39回常任執行委員会の開催について

河野委員長が出席することが承認された。

２．第28回参議院選挙における候補者の公募について（日医連委員長より）

協議３と一括協議。

３．第28回参議院比例代表選挙の公募におけるご推薦のお願いについて

現職の自見はな子参議院議員を推薦することが承認された。

（報告事項）

１．９/27㈰河野しゅんじ後援会会長会議について

２．９/11㈮（宮観ホテル）三師会懇談会について

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	c	d	c	c	b	c	b	e	c

県医の動き　（10月）

1	在宅医療研修会企画小委員会（Web会議）（吉見常任理事） 県内科医会会誌編集委員会（玉置常任理事）
2	損保ジャパンとの懇談会（会長他）
3	ICLS指導者養成ワークショップ （鹿児島）九医連勤務医連絡協議会（会長他） 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会全体研修会 （Web会議）（吉見常任理事） （鹿児島）九州医連連絡会常任執行委員会（河野委員長） （鹿児島）九医連常任委員会（会長） （鹿児島）九医連連絡協議会（会長他）
4	ALS研修会
6	宮崎大学医学部附属病院長候補者選考会議（会長） 第13回全理事協議会（会長他） 宮崎大学と県医師会との懇談会（会長他）
7	宮崎東諸県地域医療構想調整会議（金丸副会長）
8	社会保険医療担当者の個別指導（中島理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（上山理事他） 組織強化・将来構想委員会小委員会（Web会議）（小牧副会長他）
9	全国有床診療所協議会執行部会議（Web会議）（会長）
10	（秋田）全国医師国保組合連合会代表者会・全体協議会（小牧理事長）
11	宮崎から医師を目指そう！応援フォーラム（大塚常任理事他）
13	第７回常任理事協議会（Web会議）（会長他）
14	県による公益法人立入検査 支払基金審査運営協議会（会長） 県循環器病対策推進協議会（玉置常任理事） 公衆衛生・感染症委員会（Web会議）（会長他）
15	（日医）日医広報委員会（大塚常任理事） 広報委員会（髙木常任理事他） 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会（松岡理事）
16	医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議） 県産婦人科医会献金委員会（Web会議）
17	産業医研修会（TV会議）（山中理事）
18	県小児科医会役員会（髙木常任理事） 県小児科医会秋季学術講演会（髙木常任理事）
19	日向入郷地域医療構想調整会議（金丸副会長） 医療現場のワークライフバランスセミナー（Web会議）（会長他） 県内科医会学術委員会（玉置常任理事）
20	（日医）日医連執行委員会（河野委員長他） （日医）羽生田俊元日本医師会副会長お別れの会（河野委員長他） 県整形外科医会保険審査委員打合せ会議（Web会議）
21	宮崎中部地域産業保健センター運営協議会（山中理事） 広報委員会（髙木常任理事他）
22	産業保健活動推進全国会議（Web会議）（吉見常任理事他） 社会保険医療担当者の個別指導（峰松理事） 県国保等はり，きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 （大塚常任理事） 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会 （Web会議）（会長他） 県麻しん風しん対策会議・予防接種広域化検討会議・HPVワクチン接種情報共有会（髙木常任理事） 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会 （Web会議）（会長他） 県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会（河原理事）
23	医師国保組合理事会（小牧理事長他） 労災部会自賠委員会（Web会議） 都城北諸県地域医療構想調整会議（金丸副会長）
24	自民党県連ランチミーティング並びに宮崎経済フォーラム（会長） 九州各県内科医会連絡協議会（Web会議）（玉置常任理事） （大分）日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議 （濱砂常任理事他） （熊本）九医協連通常総会（金丸副理事長他）
25	（日医）日医社会保険指導者講習会
26	県高齢者サービス総合調整推進会議（吉見常任理事） 延岡西臼杵地域医療構想調整会議（金丸副会長）
27	委託料増額等に関する要望（会長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（玉置常任理事） 医師協理事会（Web会議）（河野理事長他） 医師協理事・運営委員合同協議会（Web会議）（河野理事長他） 第14回全理事協議会（Web会議）（会長他）
28	県健康づくり推進協議会（金丸副会長） 労災診療指導委員会・労災部会理事会（赤須常任理事他） 新興感染症危機管理対応訓練（入院調整訓練）打合せ （Web会議）（峰松理事） 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 （Web会議）（金丸副会長他）
30	日医医師会共同利用施設検討委員会（Web会議）（赤須常任理事） 県地域医療構想データ分析チームミーティング（金丸副会長） 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議（会長他）
31	産業医研修会（実地）（井上理事） 病院部会・医療法人部会合同研修会（赤須常任理事他）

医師の求職・求人に関する情報

令和８年10月１日現在

〔宮崎県医師協同組合ドクターバンクに関するもの〕

宮崎県医師協同組合ドクターバンクに登録されている求職に関する情報および宮崎県医師協同組合の組合員である施設の求人に関する情報をご案内します。

※１ 求職の登録は，県外の方でも結構です。

※２ 求人の登録は，宮崎県医師協同組合の組合員に限ります。

※３ 手数料は一切申し受けません。

※４ 求職および求人に関するご相談・お問合せ先は，次のとおりです。

〒880-0023　宮崎市和知川原1-101（宮崎県医師会館１階）宮崎県医師協同組合

TEL：0985-23-9100　FAX：0985-23-9179　E-mail：isikyou@miyazaki.med.or.jp

１．求職者登録数　12人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	6	3	3
外科	1	0	1
精神科	1	1	0
眼科	1	0	1
消化器内科	1	0	1
放射線科	1	0	1
神経内科	1	0	1

２．斡旋成立件数　111人

	合計
令和8年度（4/1～10/1）	1
平成16年度から累計	111

３．求人登録　82件　232人

（１）募集診療科目別　（人）

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	62	40	22
外科	14	12	2
整形外科	18	16	2
精神科	10	9	1
脳神経外科	2	2	0
循環器科	12	10	2
消化器内科	17	12	5
麻酔科	5	4	1
眼科	7	4	3
放射線科	5	5	0
小児科	3	2	1
呼吸器科	0	0	0
在宅診療	3	2	1
総合診療科・内科	9	7	2
脳神経内科	1	1	0
呼吸器内科	8	7	1
リハビリテーション科	5	3	2
救命救急科	8	5	3

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
消化器外科	7	4	3
乳腺外科	2	2	0
健診	2	2	0
泌尿器科	4	3	1
産婦人科	0	0	0
検診	0	0	0
皮膚科	0	0	0
婦人科	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0
人工透析	12	9	3
リウマチ科	2	1	1
臨床病理科	0	0	0
形成外科	0	0	0
診療科目不問	8	4	4
緩和ケア	3	3	0
内分泌糖尿病内科	3	3	0
その他	0	0	0
合計	232	172	60

（２）施設別

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医）三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医）宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	2	常勤
160031	社医）同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医）慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
190087	公社）宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医）耕和会 迫田病院	宮崎市	外,整,総診	3	常勤
190095	社医）慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医）善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	11	常勤・非常勤
200105	医）誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医）幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福）介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内	1	非常勤
230144	生協）宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診,麻	15	常勤・非常勤
230146	財）潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230177	医）社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外	4	常勤・非常勤
230185	医）朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医）財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医）社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財）弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医）聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透（いずれか）	1	常勤
230214	医）聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ（いずれか）	1	常勤
230215	医）社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医）けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医）社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整（いずれか）	1	常勤
230224	医）雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医）マナビヤ マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医）りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精,内	3	常勤・非常勤
230235	医）青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内,整	2	常勤
230241	医）慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230243	医）よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医）灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
230247	滝口内科	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230250	医）恒友会 ひろせみらいクリニック	宮崎市	内,透,泌（いずれか）	2	常勤・非常勤
230252	あかり在宅クリニック	宮崎市	内,外,緩和	3	常勤
160010	特医）敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医）宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医）清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
190092	公社）都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
230127	医）倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230162	一社）藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医）与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医）社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医）社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医）社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230225	医）社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医）社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医）伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内,放	4	常勤
160021	医）建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医）早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医）育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社）延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社）延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医）隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230189	特医）健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医）杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医）あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外（いずれか）	1	常勤
230219	財）延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医）en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医）健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医）誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
230200	医）おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230232	医）社団弘文会 松岡内科医院	日向市	内,透（いずれか）	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
230249	医）洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	非常勤
160023	医）宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤
230223	医）聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医）隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
150002	社医）慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医）愛鍼会 山元医院	日南市	内	1	常勤
160037	医）十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
230149	社医）介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医）春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医）秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230236	医）和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
230253	医）同仁会 谷口病院	日南市	精	2	常勤
160019	医）相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医）和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180076	医）けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医）友愛会 野尻中央病院	小林市	内	1	非常勤
230169	医）連理会 和田クリニック	小林市	腎内,泌,内	2	常勤・非常勤
230197	医）友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医）養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230237	医）東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤

〔公立・公的医療機関等に関するもの〕

公立・公的医療機関など（宮崎県医師協同組合の組合員でない施設）の求職および求人に関するご相談・お問合せなどは，宮崎県医療政策課へお問い合わせください。

〒880-8501　宮崎市橘通東２丁目10番１号（防災庁舎２階）宮崎県医療政策課

TEL：0985-26-7451　FAX：0985-32-4458　E-mail：ishishohei@pref.miyazaki.lg.jp

施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
延岡市立島浦診療所	延岡市	総診,小,外,内	4	常勤
福）恩賜財団宮崎県済生会日向病院	門川町	内,外	2	常勤
美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内	1	常勤
美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内	1	常勤
西都児湯医療センター	西都市	脳外,整,循内,総診,呼内,消内	12	常勤・非常勤
国民健康保険西米良診療所	西米良村	内,総診（いずれか）	1	常勤
日南市立中部病院	日南市	内,整	2	常勤
串間市民病院	串間市	内,総診,消内,循内,呼内,腎内,救（いずれか）	6	常勤・非常勤
小林市立病院	小林市	総診,放,麻	5	常勤
えびの市立病院	えびの市	内,循内,呼内,外	4	常勤
国民健康保険高原病院	高原町	総診	1	常勤
宮崎県立日南病院	日南市	消内,放,外	4	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

令和８年10月１日現在

譲渡・賃貸希望の物件に関する情報をご案内します。ご相談・お問合せ先は，次のとおりです。

〒880-0023　宮崎市和知川原1-101（宮崎県医師会館１階）宮崎県医師協同組合
TEL：0985-23-9100　FAX：0985-23-9179　E-mail：isikyou@miyazaki.med.or.jp

1. 譲渡物件	①　**宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番〔林クリニック〕** 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）
	②　**西都市中央町２丁目６番地〔図師医院〕** 土地：2,280.83㎡（691.16坪）　建物：鉄筋コンクリート造陸屋根３階建 １階 674.74㎡　２階 547.79㎡　３階 177.95㎡　計 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）
	③　**延岡市無鹿町１丁目710〔江崎医院〕** 土地：1,654.58㎡（501.38坪）　建物：鉄筋コンクリート造陸屋根４階建 １階 145.76㎡　２階 338.70㎡　３階 330.69㎡　４階 14.25㎡　計 829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）
	④　**日向市財光寺615〔吉田クリニック〕** 土地：1,704.79㎡（515.70坪）　建物：鉄筋コンクリート２階建 １階 333.69㎡　２階 117.27㎡　車庫 36.60㎡　計 487.56㎡（147.49坪） ※駐車場あり（16台）
	⑤　**延岡市本町２丁目3−5〔戸島クリニック〕** 土地：893.18㎡（270.19坪）　建物：木造スレート葺２階建 １階 173.08㎡　２階 44.72㎡　計 217.80㎡（65.89坪）※駐車場あり（15台）
2. 譲渡又は賃貸物件	①　**児湯郡川南町大字平田1402−74〔林クリニック〕** 土地：4,449㎡（1,348.18坪）　建物：鉄骨セメント造平屋建 １階　825.66㎡（250.20坪）　※駐車場あり（70台）
3. 賃貸物件	①　**宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地１〔滝口内科（旧）のぞみ医院〕** 土地：750.44㎡（227.40坪）　建物：木造スレートぶき２階建 １階　255.27㎡　２階　73.50㎡　計 328.77㎡（99.62坪）※駐車場あり（15台）
	②　**宮崎市大字本郷南方2456番地１〔平部整形外科医院〕** 土地：1801.76㎡（545.03坪）　建物：鉄筋コンクリート造陸屋根３階建 １階　282.52㎡（85.46坪）　※駐車場あり（20台）
	③　**宮崎市大橋１丁目97番地２〔金田礼子ひふ科医院〕** 土地：1,606.82㎡（486.06坪）　建物：木造スレート葺２階建 １階 107.84㎡（32.62坪）２階 69.04㎡（20.88坪）計 176.88㎡（53.51坪） ※駐車場あり（10台）
	④　**宮崎市橘通西１丁目5-3〔ハートピアみよし（旧細見）クリニック〕** 土地：854.8㎡（258.58坪）建物：鉄筋コンクリート造陸屋根４階建 １階 16.9㎡（5.11坪）２階 259.77㎡（78.58坪）３階 258.35㎡（78.15坪） ４階 25.18㎡（7.62坪）計 560.2㎡（169.46坪）※駐車場あり（25〜30台）

宮崎県医師会行事予定表

令和８年10月23日

11月

1	日	10：00　カラダグッド宮崎フェスタ
2	月	13：30　大規模地震時医療活動訓練県訓練調整会議（親会） 19：00　HIV・エイズ対策講習会
3	火	（文化の日） ８：30　県医親善ゴルフ大会
4	水	18：00　県医療審議会医療計画等部会
5	木	19：00　（日南市）日南串間地域医療構想調整会議
6	金	
7	土	10：00　（大分）全国医師会勤務医部会連絡協議会 16：00　県整形外科医会研修会 16：30　（岡山）全医協連通常総会
8	日	10：00　（大分）勤務医交流会
9	月	13：30　新興感染症危機管理対応訓練（入院調整訓練） 18：00　県認知症疾患医療センター合同会議（Web会議） 19：00　生活習慣病検診従事者研修会（Web会議）
10	火	13：30　宮大学長選考・監察会議 18：30　第15回全理事協議会 19：00　県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会
11	水	13：00　日医熊本地震JMAT活動報告会（都道府県医師会JMAT担当理事連絡協議会）（Web会議） 15：45　防災庁設置記念シンポジウム（Web会議）
12	木	９：50　（美郷町）ロコモ予防運動推進事業普及講座 13：00　社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導 18：00　県医療審議会 19：00　県産婦人科医会常任理事会（Web会議）
13	金	16：00　（鹿児島）九医連常任委員会 17：00　（鹿児島）九医連臨時委員総会
14	土	10：00　（鹿児島）九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会 13：00　（鹿児島）九州医師会総会・医学会 13：00　宮崎大学農学部附属動物病院感染動物隔離入院施設竣工記念式典・記念シンポジウム
15	日	（鹿児島）九州医師会医学会分科会・記念行事
16	月	19：00　広報委員会
17	火	14：00　県訪問看護推進協議会 15：00　（日医）都道府県医師会長会議 19：00　組織強化・将来構想委員会小委員会
18	水	11：00　（五ヶ瀬町）ロコモ予防運動推進事業普及講座 16：00　支払基金審査運営協議会 19：00　医学賞選考委員会（Web会議）
19	木	18：00　医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議） 19：00　広報委員会 19：00　共同利用施設委員会（全国医師会共同利用施設総会実行委員会）（Web会議）
20	金	10：00　内閣府船舶活用医療実働訓練
21	土	10：00　（愛知）全国学校保健・学校医大会 17：00　宮大医学部附属病院研修ローテート等説明会
22	日	10：00　日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会
23	月	（勤労感謝の日）
24	火	14：30　県国保等はり，きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 18：00　医師協理事会 18：30　第16回全理事協議会 18：30　医師協理事・運営委員合同協議会 19：00　各郡市医師会長協議会
25	水	14：00　（日之影町）ロコモ予防運動推進事業普及講座 15：00　労災診療指導委員会・労災部会理事会 18：30　日本臨床外科学会会長招宴
26	木	11：30　日本臨床外科学会支部合同懇談会 15：00　県・市町村との妊婦健診等に関する協議会（Web会議） 18：00　九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19：00　日医社保指導者講習会伝達講習会（Web会議）
27	金	13：00　（東京）九州各県アイバンク連絡協議会 14：00　（東京）全国アイバンク連絡協議会 19：00　地域医療構想研修会（Web会議） 20：30　地域医療委員会（Web会議）
28	土	県大規模地震時医療活動訓練 14：30　産業医研修会（実地） 15：00　各郡市医師会等職員研修会
29	日	
30	月	

国保審査

社保審査

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和８年10月23日

12月

1	火	17：00　医師を目指す学生のためのキャリアセミナー 19：00　第８回常任理事協議会
2	水	19：00　県医・医師協合同監査
3	木	19：00　介護保険委員会（Web会議）
4	金	17：00　県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 19：00　医療安全対策Webセミナー（Web会議）
5	土	
6	日	9：00　人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
7	月	19：00　自殺対策うつ病研修会（Web会議）
8	火	18：30　第17回全理事協議会 19：00　県医臨時代議員会
9	水	
10	木	19：00　広報委員会 19：00　県産婦人科医会全理事会（Web会議）
11	金	18：00　指導医のための教育ワークショップ打合せ会 18：00　医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議） 19：00　HTLV-1母子感染対策事業研修会
12	土	9：00　指導医のための教育ワークショップ 13：35　指導医のための教育ワークショップ記念撮影
13	日	8：30　指導医のための教育ワークショップ 11：00　（東京）全国有床診療所協議会執行部会議
14	月	
15	火	19：00　JMAT研修会・意見交換会
16	水	16：00　支払基金審査運営協議会 19：00　広報委員会 19：00　医師会立看護学校担当理事連絡協議会（Web会議）
17	木	9：30　（門川町）ロコモ予防運動推進事業普及講座 14：30　（日医）日医有床診療所委員会
18	金	国保審査
19	土	国保審査
20	日	社保審査
21	月	社保審査
22	火	第18回全理事協議会 14：30　県国保等はり，きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 18：00　医師協理事会 18：30　医師協理事・運営委員合同協議会 19：00　役職員懇談会
23	水	（会館大掃除） 14：00　県保険者協議会 15：00　労災診療指導委員会・労災部会理事会
24	木	18：00　九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
25	金	
26	土	
27	日	9：00　（日医）日医JMAT研修会（基礎編）
28	月	
29	火	（年末休業）
30	水	（年末休業）
31	木	（年末休業）

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医　学　会　・　講　演　会
日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，**CC**：カリキュラムコード
がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 ㊀・㊁・㊂・㊃
［現地］…現地参加のみ　**［現地・Web］**…現地参加またはWeb聴講
［Web］…Web聴講のみ ※Webの場合，会場は記載いたしません。

詳細および最新情報はこちら

令和８年度HIV・エイズ対策講習会
11月２日㈪　19:00～21:00［現地］
県立宮崎病院

「高齢社会を迎えた日本で，HIVと共に暮らす生活の場を考える」
東京医療センター 総合内科 医長
本田　美和子
主催：宮崎県医師会
共催：県立宮崎病院
宮崎県福祉保健部薬務感染症対策課
☎0985-44-2620
CC（単位）：８（1.0）
専門医共通講習－感染対策：１単位

第210回宮崎心臓病研究会
11月２日㈪　18:45～20:15［Web］

「虚血性心疾患患者における不整脈マネジメント～予後改善と突然死予防を見据えて～」
熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学 教授　辻田　賢一，他
他演題あり
主催：宮崎心臓病研究会
共催：日本メドトロニック㈱
連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
CC（単位）：０（1.5）

宮崎市郡内科医会学術講演会
11月５日㈬　19:00～20:20［Web］

「脳神経外科で用いられる降圧治療について（仮）」
潤和会記念病院 脳神経外科 副院長
濱砂　亮一
「夜間高血圧の管理目標と薬剤選択について（仮）」
宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長
西平　賢作
主催：宮崎市郡内科医会
共催：大塚製薬㈱，ノバルティスファーマ㈱
連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
CC（単位）：74（1.0）

延岡医学会学術講演会
～抗凝固療法と高血圧診療を考える～
11月６日㈭　19:00～20:20［現地・Web］
エンシティホテル延岡

「成人心房中隔欠損症の治療戦略～いつ閉じるか，抗凝固をどう考えるか～」
古賀総合病院 循環器内科 医長
宮崎大学 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野
小牧　聡一
「高血圧診療における腎デナベーションの立ち位置と展望」
宮崎大学医学部 内科学講座
循環器・腎臓内科学分野 助教　森林　耕平
主催：延岡医学会
共催：第一三共㈱，延岡内科医会
連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300
CC（単位）：42（0.5），74（0.5）

令和８年度宮崎県整形外科医会研修会
11月７日㈮　16:00～18:15［現地］
宮崎県医師会館

「令和８年度全国整形外科保険審査委員会議報告について」
県国民健康保険診療報酬審査委員
濱田　浩朗，他
「脆弱性椎体骨折の診断と治療」
宮崎大学医学部 整形外科　比嘉　聖
主催：宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118
共催：旭化成セラピューティクス㈱
CC（単位）：９（1.0），77（1.0）

皮膚の日講演会
11月８日㈰　14:00～15:30［現地・Web］
宮崎観光ホテル

「不老長寿から不老不死へ」
青木皮膚科　出盛　允啓
主催：宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
　　日本臨床皮膚科医会宮崎県支部
共催：日本皮膚科学会
後援：厚生労働省，NHK，日本医師会
　　宮崎県医師会
CC（単位）：９（1.5）

令和８年度 宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）
11月９日㈰　19:00～21:00［現地・Web］
宮崎県医師会館またはZoomウェビナーおよびTV会議７会場（都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸）

「日常の胃がん検診を洗練させる～多様化する背景粘膜の評価と見落としのない視点～」㊐
宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野
助教　三池　忠
「乳がん検診について」㊛
県立宮崎病院 副院長　大友　直樹
「大腸がん検診について」大腸
県立宮崎病院 内科医長　山路　卓巳
「宮崎県の肺がん検診～要領変更と現状，検診症例から考えること～」㊒
画像診断オフィス Wリード代表　杜若　陽祐
主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
共催：宮崎県
CC（単位）：７（0.5），11（0.5），12（0.5），82（0.5）

宮崎県医師会産業医研修会
11月11日㈬　19:00～21:00［現地］
宮崎県医師会館

「高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務的研修」
産業保健相談員
人財科学研究所 代表　工藤　智徳
主催：宮崎産業保健総合支援センター
　　☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：５（2.0）
生涯研修の実地研修会：２単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月12日㈭　19:00～21:00［現地］
宮崎県医師会館

「化学物質との対話（化学物質管理にあたって大切なこと）」
産業保健相談員
労働衛生コンサルタント　下津　義博
主催：宮崎産業保健総合支援センター
　　☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：０（2.0）
生涯研修の専門研修会：２単位

都城市北諸県郡医師会内科医会・都城眼科医合同学術講演会
11月12日㈭　19:00～20:00［現地・Web］
未来創造ステーション

「糖尿病合併症予防のための取組みと今後の課題点」
宮永病院 糖尿病センター 医長　中村　孝之
「糖尿病網膜症診療に関して内科の先生に知っておいていただきたいこと」
宮田眼科病院　加藤　聡
主催：都城市北諸県郡内科医会
共催：中外製薬㈱
連絡先：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
CC（単位）：76（1.0）

延岡医学会学術講演会
11月13日㈮　19:00～20:00［現地］
アパホテル延岡駅前

**「脳梗塞診療の現状とポイント
～急性期治療と慢性期の危険因子管理～」**
県立延岡病院 脳神経外科 副医長　徳田　高穂
「心不全診療におけるARNIの使いどころ」
県立延岡病院 循環器内科 部長　黒木　一公
主催：延岡医学会

共催：大塚製薬㈱，ノバルティスファーマ㈱
連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300
CC（単位）：74（1.0）

西臼杵郡医師会学術講演会
11月13日㈭　19：00～20：00［現地・Web］
高千穂町国民健康保険病院

「間質性肺炎へのアプローチ
～診断と抗線維化薬の意義～」
沖縄県立中部病院 医療部長
兼 呼吸器内科 部長　喜舎場　朝雄
主催：西臼杵郡医師会
共催：日本ベーリンガーインゲルハイム㈱
☎090-4676-6466
CC（単位）：45（1.0）

宮崎県医師会産業医研修会
11月13日㈭　19：00～21：00［現地］
宮崎県医師会館

「行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討」
産業保健相談員
産業医　江藤　敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：11（2.0）
生涯研修の実地研修会：２単位

南那珂医師会生涯教育医学会
11月17日㈫　19：00～20：15［現地・Web］
南那珂医師会館

「地域社会で取り組むCKD対策」
県立日南病院 内科主任部長
兼 臨床工学科主任部長　松本　充峰
主催：南那珂医師会 ☎0987-23-3411
共催：日本ベーリンガーインゲルハイム㈱
CC（単位）：73（1.0）

宮崎県医師会産業医研修会
11月18日㈬　19：00～21：00［現地］
延岡市医師会病院

「高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務的研修」
産業保健相談員
人財科学研究所 代表　工藤　智徳
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：５（2.0）
生涯研修の実地研修会：２単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月19日㈭　19：00～21：00［現地］
宮崎県医師会館

「自律的な化学物質管理とCREATE-SIMPLEを用いたリスクアセスメント」
産業保健相談員
なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長
中甫木　直樹
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：０（2.0）
生涯研修の実地研修会：２単位

宮崎県内科医会 学術講演会
11月19日㈭　19：00～20：00［現地・Web］
ホテルJALシティ宮崎

「ILDにおける病診連携・病病連携
～市中病院の呼吸器内科医の立場から～」
宮崎善仁会病院　岩江　奈津子
「非結核性抗酸菌症の診断と治療」
宮崎東病院 副院長　松元　信弘
主催：宮崎県内科医会
共催：帝人ヘルスケア㈱ ☎0985-25-6613
日本ベーリンガーインゲルハイム㈱
CC（単位）：８（0.5），80（0.5）

西都市西児湯医師会学術講演会
11月20日㈭　19：00～20：10［現地・Web］
西都市西児湯医師会館

「宮崎市郡医師会におけるICTとACPの現状」
医療法人サクラ会 あけぼの診療所 院長
國枝　良行
主催：西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687
共催：西都市西児湯内科医会
西都市西児湯地域包括ケア推進センター
後援：西都市
社会福祉法人西都市社会福祉協議会
西都市北地区地域包括支援センター
西都市南地区地域包括支援センター
CC（単位）：80（1.0）

All Miyazaki 総合診療 オータムセミナー
11月21日㈯　14：00～17：00［現地・Web］
ひなたキャンパス

「本当に合ってる？～“自分の思考を診る”総合診療からみたメタ認知～」
県立宮崎病院　早川　学，他
他演題あり
主催：宮崎大学医学部 総合診療科学講座
☎0985-85-9809
CC（単位）：15（2.5）

令和８年度 第４回宮崎県緩和ケア研修会
11月22日㈰　9：00～17：30［現地］
都城医療センター

「コミュニケーション」
宮崎大学医学部附属病院 精神科 准教授
船橋　英樹
「全人的苦痛に対する緩和ケア」
都城医療センター 放射線科 医長　新村　耕平
「療養場所の選択と地域連携」
医療法人倫生会三州病院 緩和ケア 医師
山賀　昌治
主催：都城医療センター ☎0986-23-4111
CC（単位）：4（1.5），12（1.5），81（1.5）

日医かかりつけ医機能研修制度 令和８年度応用研修会
11月22日㈰　10：00～17：10［現地］
宮崎県医師会館

「慢性心不全の診断と治療」
医療法人社団ゆみの 理事長　弓野　大
「関節リウマチ・膠原病の臨床」
埼玉医科大学 学長　竹内　勤
「在宅を支えるリハビリテーション」
兵庫県立リハビリテーション中央病院 院長
大串　幹
「当事者から学ぶ「新しい認知症観」」
日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事
山中　しのぶ，他
「医療現場におけるDXの活用の実際」
山口県立総合医療センター
へき地医療支援センター 診療部長
原田　昌範
「症例検討～がん/非がんの緩和ケア～」
医療法人桜花会 あすか在宅クリニック
理事長・院長　髙添　明日香，他
主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
CC（単位）：9（1.0），19（1.0），29（1.0）
61（1.0），73（1.0），81（1.0）

宮崎県医師会産業医研修会
11月25日㈫　19：00～21：00［現地］
日南市テクノセンター

「上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力」
産業保健相談員
産業医　江藤　敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
共催：宮崎県医師会 ☎0985-62-2511
CC（単位）：10（2.0）
生涯研修の専門研修会：２単位

漢方治療のトリセツシリーズ
11月25日㈫　19：00～20：00［Web］

「冷えのトリセツ！」
ちぐさ東洋クリニック 院長　川越　宏文
主催：東洋医会

共催：クラシエ薬品㈱ ☎092-291-8131
CC（単位）：83（1.0）

日向市東臼杵郡医師会学術講演会
11月25日㈬　19：00～20：00［現地・Web］
ホテルベルフォート日向

「動脈硬化残余リスクとしての高トリグリセリド血症の管理」
鹿児島大学病院 心臓血管内科 講師
兼 診療准教授　赤﨑　雄一
主催：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222
日向市東臼杵郡医師会内科医会
共催：興和㈱
CC（単位）：75（1.0）

宮崎県医師会産業医研修会
11月26日㈭　19：00～21：00［現地］
都城市北諸県郡医師会館

「化学物質管理者制度と産業医
～化学物質の性状に関連の強い災害～」
産業保健相談員
労働衛生コンサルタント　下津　義博
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：０（2.0）
生涯研修の専門研修会：２単位

宮崎県内科医会学術講演会～見落とさないHAE～
11月26日㈭　19：00～20：00［現地・Web］
KITENビル

「内科医師として遺伝性血管性浮腫（HAE）を疑うべきポイント（仮）」
宮崎大学医学部附属病院 膠原病感染症内科
診療科長　梅北　邦彦
主催：宮崎県内科医会
共催：バイオクリスト・ジャパン㈱
☎03-4216-8260
CC（単位）：24（1.0）

令和８年度日本医師会社会保険指導者講習会伝達講習会
11月26日㈭　19：00～21：00［現地・Web］
宮崎県医師会館

「がんロコモの現状と展望
～がん患者の運動器管理の重要性～」
一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団
潤和会記念病院　帖佐　悦男
「嚥下障害を診る」
医療法人 ふくどめ耳鼻咽喉科クリニック 院長
福留　真二
「アイフレイル対策のススメ」
医療法人 川原眼科 院長　川原　亮輝
主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
CC（単位）：36（0.5），49（0.5），62（0.5）

宮崎県医師会産業医研修会
11月27日㈮　14：00～16：00［現地］
宮崎県医師会館

「労災事故を防ぐための保護具の正しい使用法」
産業保健相談員
宮崎大学 国際連携機構・国際連携センター
客員教授　黒田　嘉紀
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：11（2.0）
生涯研修の専門研修会：２単位

第82回宮崎循環器セミナー
11月27日㈮　18：30～19：40［Web］

「新たな治療時代を見据えて～ASCVD予防における脂質管理目標達成の重要性～」
東京科学大学大学院 先進倫理医科学分野 教授
吉田　雅幸，他
他演題あり
主催：宮崎心臓病研究会
共催：大塚製薬㈱
連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
CC（単位）：75（1.0）

宮崎県医師会産業医研修会
11月28日㈮　14:30～16:30［現地］
宮崎県医師会館

「呼吸保護具の正しい使い方」
宮崎大学 名誉教授　黒田　嘉紀
主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
CC（単位）：１（2.0）
基礎研修・生涯研修の実地研修：２単位

第17回はまゆう整形外科セミナー
11月28日㈮　17:00～18:00［現地］
宮崎観光ホテル

「人工知能から見た膝関節」
宮崎大学医学部附属病院 整形外科 助教
山口　洋一朗
「変形性膝関節症に対する手術療法の私の現在地」
なんごう病院 院長　川添　浩史
主催：宮崎大学医学部整形外科学教室同門会
☎0985-85-0986
CC（単位）：61（1.0）
参加費：1,000円

宮崎市郡内科医会学術講演会
11月30日㈪　19:00～20:15［現地・Web］
宮崎観光ホテル

「肺MAC症治療：誰に？何を？いつ？どのように？」
東邦大学医療センター佐倉病院 呼吸器内科
講師　若林　宏樹，他
他演題あり
主催：宮崎市郡内科医会
共催：インスメッド㈱
連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
CC（単位）：46（1.0）

令和８年度延岡西臼杵糖尿病発症・糖尿病性腎症重症化予防研修会
12月１日㈫　18:00～19:30［現地・Web］
宮崎県延岡保健所

「医療機関未受診・治療中断を防ぐ多職種の関わり方（仮）」
特定医療法人健寿会 黒木病院 看護師
谷名　久美
主催：宮崎県延岡保健所 ☎0982-33-5373
CC（単位）：76（0.5）

第93回宮崎整形外科懇話会
12月５日㈮　15:00～18:30［現地］
宮崎大学医学部

「変形性股関節症の温故知新～RA，骨粗鬆症含む～」
九州大学大学院医学研究院 整形外科 教授
中島　康晴
主催：宮崎大学医学部整形外科学教室
☎0985-85-0986
共催：宮崎県整形外科医会
旭化成セラピューティクス㈱
CC（単位）：61（1.0）
参加費：1,000円

宮崎県医師会産業医研修会
12月９日㈬　19:00～21:00［現地］
宮崎県医師会館

「健康経営を導くワークライフバランス」
産業保健相談員
産業医　江藤　敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：11（2.0）
生涯研修の専門研修会：２単位

令和８年度HTLV-1母子感染対策事業研修会
12月11日㈭　19:00～20:00［現地・Web］
宮崎県医師会館

「HTLV-1診療 Up to Date」
宮崎大学医学部附属病院 膠原病内科
呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野
准教授，診療科長　梅北　邦彦
主催：宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118
CC（単位）：15（1.0）
専門医共通講習－感染対策：１単位

令和８年度宮崎県緩和ケア研修会
12月12日㈯　8：30～17：10［現地］
県立日南病院

「e-learningの復習・質問」
県立日南病院　市成　秀樹
「全人的苦痛に関する緩和ケア」
医療法人倫生会 三州病院　山賀　昌治
「コミュニケーション」
宮崎大学医学部附属病院 精神科 副科長
船橋　英樹
「療養場所の選択と地域連携」
県立日南病院 副院長　木佐貫　篤
主催：県立日南病院 ☎0987-58-2152
CC（単位）：4（1.5），10（1.5），12（1.5），15（0.5）

第216回宮崎県眼科医会講習会
12月12日㈯　17：00～19：35［現地］
KITENビル

「臨床成果を高める眼圧下降治療戦略」
日本医科大学 眼科 准教授　中元　兼二
「角膜内皮再生医療の現在地と社会実装」
同志社大学大学院 生命医科学研究科 教授
奥村　直毅
主催：宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015
共催：大塚製薬㈱
CC（単位）：36（2.0）
参加費：3,000円

第259回宮崎県泌尿器科医会学術講演会
12月18日㈮　18：50～20：00［現地］
ひなたキャンパス

「前立腺癌に対するロボット支援手術の最前線とQOL向上を目指したOAB治療」
東京慈恵会医科大学 泌尿器科学講座 教授
木村　高弘
主催：宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968
共催：キッセイ薬品工業㈱
CC（単位）：64（1.0）

宮崎県医師会産業医研修会
12月23日㈫　19：00～21：00［現地］
日南市テクノセンター

「健康経営を導くワークライフバランス」
産業保健相談員
産業医　江藤　敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：11（2.0）
生涯研修の専門研修会：２単位

令和８年度ワンヘルス・人獣共通感染症研修会
～重症熱性血小板減少症候群（SFTS）～
12月23日㈫　19：00～20：30［現地］
宮崎県防災庁舎

「SFTSの現在地 ～基礎から新たな知見まで～」
山口県立総合医療センター 血液内科 診療部長
高橋　徹
主催：宮崎県
連絡先：宮崎県薬務感染症対策課
☎0985-44-2620
CC（単位）：８（1.5）

宮崎県医師会産業医研修会
１月９日㈯　14：00～16：00［現地］
ひなたキャンパス

「石綿関連疾患診断技術研修会（読影実習）」
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
臨床腫瘍学分野 教授
長崎大学病院 がん診療センター長
緩和ケアセンター長
ゲノム診療センター がんゲノム診療部門長
芦澤　和人，他
主催：㈱労働者健康安全機構 宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：45（2.0）
生涯研修の実地研修会：２単位

宮崎県医師会産業医研修会
１月13日㈬　19:00～21:00［現地］
宮崎県医師会館

「産業医としての発達障がい者就労支援」
産業保健相談員
産業医　　江藤　敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：０（2.0）
生涯研修の専門研修会：２単位

令和８年度高次脳機能障がい講演会
１月15日㈮　19:00～21:00［現地・Web］
宮崎県医師会館

「高次脳機能障害支援の現状と課題」
国立障害者リハビリテーションセンター 顧問
深津　玲子
主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
CC（単位）：29（2.0）

宮崎県医師会産業医研修会
１月21日㈬　19:00～21:00［現地］
宮崎県医師会館

「令和８年，産業保健の動向」
産業保健相談員
労働衛生コンサルタント　　矢崎　武
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：６（2.0）
生涯研修の更新研修会：２単位

宮崎県医師会産業医研修会
１月27日㈫　19:00～21:00［現地］
日南市テクノセンター

「リスクを軽減する職場巡視の方法」
産業保健相談員
産業医　　江藤　敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：11（2.0）
生涯研修の実地研修会：２単位

宮崎県医師会産業医研修会
１月28日㈬　13:30～15:30［現地］
延岡市医師会病院

「令和８年，産業保健の動向」
産業保健相談員
労働衛生コンサルタント　　矢崎　武
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC（単位）：６（2.0）
生涯研修の更新研修会：２単位

＜認可特定保険業者＞公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格
64 歳 6 カ月未満の日本医師会会員
（会員区分は問いません）

保険料は
いつでも
増減できます!
余裕資金は随時払で
まとめて
増額できます。

予定利率は1.5%※
事務手数料は
払込保険料に対して
0.25%
※令和8年4月時点

人生100年時代に
一生涯受け取れる
年金を準備できます。

キャリアによって
年金制度が変わる
医師の
ライフスタイルに
あった年金です。



医師年金

医師としての使命を果たすあなたに。
医師年金でキャリア後の安心を手に入れましょう。



ぜひ
お試し
ください



医師年金ホームページで、簡単シミュレーション!

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、
簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。

医師年金　検索

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

公益社団法人 日本医師会 年金福祉課

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
TEL：03-3942-6487（直通）FAX：03-3942-6503
受付時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（平日）
E-mail：nenkin@po.med.or.jp

20260401S25

診療メモ



肝臓疾患の最近のトピックス

～代謝障害関連脂肪肝炎（MASH）に対するセマグルチド治療について～

宮崎医療センター病院 消化器内科 部長　永田（ながた）賢治（けんじ）

はじめに

肥満症治療薬である「ウゴービ」（一般名：セマグルチド）が，2026年６月に国内初の代謝障害関連脂肪肝炎（MASH）治療薬として承認されました。同じセマグルチド製剤である，オゼンピックは糖尿病治療薬でありますが，これにより脂肪肝炎のある患者において新たな治療が可能となりました。しかしながらGLP-1受容体作動薬に関しては肥満のない人が体重減少目的，美容やダイエット目的で使用するという問題も起こり，MASHに対するセマグルチド治療については厚生労働省が最適使用推進ガイドラインを作成し，留意事項について厚生労働省保険局医療課長名で通達を出しています。ここでこの最適使用推進ガイドラインを中心に概説させていただきます。

代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）について

代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）は進行性の肝疾患であり，代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）の一部です。MASLD患者の20％がMASHに進行するといわれています。MASHが進行すると，線維化による障害が肝硬変を引き起こす可能性があり，肝硬変は肝不全，肝細胞癌など更なる合併症につながる可能性があります。また，MASLDと心血管リスク上昇の間には強い相関があり，心血管系疾患は合併症や死因の中で頻度が高いことが知られています。MASLDおよびMASHは内臓疾患，脂質異常症，インスリン抵抗性などの代謝異常と密接に関連しており，更に，MASH患者において肥満と２型糖尿病が合併すると線維化の進行リスクが高まることが報告されています。

本薬剤の特徴，作用機序

セマグルチドはGLP-1受容体作動薬であり，２型糖尿病および肥満症の治療においてすでに臨床使用経験を有する薬剤です。肝細胞においてはGLP-1受容体の発現は確認されておらず，肝臓に対するセマグルチドの効果は間接的なものであり，主に代謝因子の改善ならびに糖および脂質代謝の改善によるところが大きいと考えられています。非アルコール性脂肪肝炎（NASH）患者を対象としたプラセボ対照二重盲検比較試験（国際共同第III相試験：NN9931-4553）では有効性について，肝線維化の悪化を伴わないNASHの消失の達成割合は，プラセボ群が34.3％であったのに対して，本剤群では62.9％と有意に高率であったことが報告されています。安全性については本剤投与群での有害事象発症率はプラセボ群と同等であり，主な副作用は本剤群では悪心34.1％，下痢20.3％，便秘17.3％，嘔吐15.9％，食欲減退13.6％などとなっています。

施設および医師要件について

本剤の投与については以下の要件が求められています。

① 施設について

・消化器内科，肝臓内科，内科のいずれかを標榜している保険医療機関であること。

・MASHの病態，経過と予後，診断，治療（参考：国内外の診療ガイドラインなど）を熟知し，本剤についての十分な知識を有している医師の指導の下で本剤の処方が可能な医療機関であること。
・常勤の管理栄養士による適切な栄養指導を行うことができる体制が整っている施設であること。実施した栄養指導については診療記録などに記録をとること。

＜医師要件＞

指導の要件として以下の基準を満たすこと。

医師免許取得後２年の初期研修を修了した後に，MASHまたはNASHの診療を５年以上行っていること。または医師免許取得後，満７年以上の臨床経験を有し，そのうち５年以上はMASHまたはNASHの臨床経験を行っていること。

（１）MASHまたはNASHの診療に関連する以下のいずれかの専門医を有していること
・日本肝臓学会（肝臓専門医）
・日本消化器病学会（消化器病専門医）

（２）MASHまたはNASHの心代謝系危険因子の診療に関連する以下のいずれかの学会の専門医を有していること
・日本内分泌学会（注１）
・日本糖尿病学会（注１）
・日本循環器学会

なお，日本肥満学会の専門医を有していることが望ましい。

（注１）日本内分泌学会または日本糖尿病学会専門医には，両学会が認定する専門医（内分泌代謝・糖尿病内科専門医）も含まれる。

② 院内の医薬品情報管理の体制について

・製薬企業などからの有効性・安全性などの薬学的情報の管理や，有害事象が発生した場合に適切な対応と報告業務などを速やかに行うことなどの医薬品情報管理，活用の体制が整っていること。

③ 副作用への対応について

・医薬品リスク管理計画（RMP）の安全性検討事項に記載された副作用や，使用上の注意に記載された副作用に対して，当該施設または近隣医療機関の専門性を有する医師と連携し，副作用の診断や対応に関して指導および支援を受け，直ちに適切な処置ができる体制が整っていること。

投与対象となる患者

【患者選択について】

投与の要否の判断にあたっては，以下を満たすMASH患者であることを確認する。

・最新の診療ガイドラインの診断基準に基づき，下記の効能または効果を満たす患者であること。
・肝硬変を伴わない代謝機能障害関連脂肪肝炎

ただし，中等度または高度の線維化を有する場合に限る。肝線維化ステージがF2またはF3に線維化が進行した患者であることを，生検によって確認すること。

生検の実施が適切ではないことが判断された場合には，非侵襲的検査（NIT）に基づき判定すること。NITを用いて肝線維化ステージを判定する場合，エラストグラフィー，血液学的バイオマーカーなどの検査所見に加え，臨床所見，心代謝系危険因子および画像所見などをふまえ，F2またはF3の患者であることを肝臓専門医または消化器病専門医が総合的に判断すること。

・臨床試験においてBMI 19.0kg/m^2未満の患者は組入れられなかったことから，BMI19.0kg/m^2未満の患者には投与しないこと。
・BMI19.0kg/m^2以上23.0kg/m^2未満の患者への適用を考慮する場合は，MASHに関する最新の診療ガイドラインを参考に，本剤の有効性および安全性を十分に理解し，患者に説明したうえで，その必要性を慎重に判断すること。

おわりに

GLP1受容体作動薬のMASHに対する投与に関する最適使用ガイドラインについて概説しました。現時点では使用にはかなり制約がありますので肝臓もしくは消化器病専門医の先生にご相談ください。

宮大医学部学生のページ



学祭の季節がやってきました！

清花祭 清武キャンパス実行委員長　嶋田剣吾（しまだけんご）

日時：令和８年11月14日㈯・15日㈰
会場：宮崎大学木花キャンパスと宮崎大学清武キャンパス

今年度も，上記の日程で学園祭の開催が決定しましたのでお知らせいたします。今年のスローガンは，「飛躍堂々～ひなたの真ん中で，宮崎大と待ち合わせ～」です。

宮崎の象徴であるフェニックス。その花言葉である「躍動」のように，学生一人ひとりがそれぞれの想いを胸に，失敗を恐れず挑戦し，この清花祭を通して大きく飛躍してほしいという願いを込めています。

また，「ひなたの真ん中で，宮崎大と待ち合わせ」という言葉には，宮崎大学を学生だけの場所ではなく，地域の皆様にとっても身近で，気軽に訪れていただける場所にしたいという想いがあります。

今日という一日が，学生にとって新たな一歩を踏み出すきっかけとなり，地域の皆様にとっても，宮崎大学をより身近に感じていただける時間になれば幸いです。

清武キャンパスでは，「清花祭」の前身である宮崎医科大学時代の「すずかけ祭」の伝統を受け継ぎながら，医学科・看護学科ならではの特色ある企画を展開します。その中でも，医学や看護学の知識を地域の皆様と共有する「医学展」を中心に，多彩な催しを通して命や健康の大切さを感じていただける内容となっております。以下では，その一部をご紹介します。

清武キャンパス医学展

＜気持ち企画＞

患者さんや医療従事者の気持ちを本という１つの形にして配布します。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることで，お互いの「伝えたかったのに伝えられなかった思い」に近づく機会となれば幸いです。

＜なってみよう企画＞

主に児童，学生を対象とした医師体験や看護師体験，その他の医療にまつわるさまざまな体験を楽しむことができます。折り紙やバルーンなど，小さなお子様も楽しめる雰囲気の部屋となっておりますので，ぜひお立ち寄りください。

＜解剖・病理企画＞

この企画は，身体の構造や身近な病気について理解を深め，ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。実物の病理標本や模型に加え，子どもたちにも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。医学や人体の面白さに触れていただければ幸いです。

＜進路相談カフェ＞

医学・看護学を志す県内の中高生に向けて，現役の医学部生による進路相談や進学のモチベーションアップにつながる企画を用意しております。ぜひ，興味のあるお知り合いの方などにご紹介ください。

＜年齢企画＞

脳，肌，血管，体力といった体の状態を「年齢」という数字を通して測定する企画です。ぜひご来場いただき，ご自身の健康に関心を持っていただければ幸いです。

11/14(土)				11/15(日)		
晴天時		雨天時		晴天時		雨天時
体育館	中　庭	体育館		体育館	中　庭	体育館
		軽　音	9：00			Doc.
	軽　音		9：30		Doc.	
			10：00			コンテスト
		JABBERL∞P	10：30		コンテスト	
	JABBERL∞P	おたまなでしこ	11：00			
てげじゃが	おたまなでしこ	Doc.	11：30	こども企画		こども企画
	Doc.		12：00		mayu.acoustic	
		アカペラサークル	12：30		深海魚	
	管打楽器	管打楽器	13：00	特別ゲスト		特別ゲスト
すずかけ太鼓	アカペラサークル	fantastic five	13：30			
	fantastic five	すずかけ太鼓	14：00		先生とあそぼ！	先生とあそぼ！
	Produce 381		14：30			
		Produce 381	15：00			
			15：30			
	キズナ企画		16：00			mayu.acoustic
		キズナ企画	16：30		VEINZ	深海魚
			17：00			VEINZ
バトル企画			17：30			
		てげじゃが	18：00			
		バトル企画	18：30			
			19：00			
			19：30			

内容紹介

軽音　軽音楽部によるバンドの演奏です
すずかけ太鼓　勇壮で力強く心震わす太鼓の演奏
管打楽器　管打楽器の心を癒す美しい演奏
Doc.　医学部ダンスサークルによる心まで踊るダンス
キズナ企画
学生でチームを組み，ゲームを通して友情を育む企画
コンテスト企画
仮装をした男の子がさまざまなゲームに挑戦
Produce381（旧ミスキャン）
女子のプロデュース力と男子のプロデュースされる力を競います♥
バトル企画
最も美しく，勇ましい男の子を決める清花祭が誇るイベントです
先生とあそぼ！
普段見れない教授や先生の意外さが見れるかも！
こども企画　地域の子どもと一緒にミニ運動会！
おたまなでしこ
オタマトーン４台で楽しく学祭を盛り上げます！
深海魚
１年から３年が参加しているバンドで，サカナクションのコピーをします！知っている曲があれば一緒に歌ってください!!みんなで学祭ステージ盛り上げましょう！

mayu.acoustic
医学科５年のまゆずみです。学祭２日目，中庭で12時から（雨天時は体育館で16時から）アコギで弾き語りをします。ぜひ聞きにきてください(*˙˘˙*)♪
JABBERL∞P
Sax，Trumpet，Keyboard，Bass，Drumsの５名で構成されたクラブジャズバンド。よろしくお願いします。
VEINZ
医学科６年生のバンドです！みんなで盛り上がれる曲をやります！中庭に集合〜!!
アカペラサークル　美しい歌声，届けます！
fantastic five 03
女子５人組でダンスを踊ります。楽しんでもらえたら嬉しいです。
てげじゃが
全バンドの中で１番熱いステージにするんじゃ！ぜひ聞きに来てくんないね〜！

なんと，スペシャルゲストが宮崎大学清武キャンパスにやってきます！みなさんぜひ来てください!!

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては，会員専用ページをご覧いただくか，所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名，パスワードが必要ですので，県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので，まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文　書　名
９月30日	・令和８年度医療機関機能・病床機能報告及び外来機能報告の実施等について（通知） ・感染症サーベイランスシステムを活用した電磁的な方法による届出の促進について ・医薬品副作用被害救済制度等に関する集中広報等の周知について（依頼） ・変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）感染状況を踏まえた献血制限に係る関係通知の廃止の実施について（通知） ・季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの供給等について ・「季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症に係る定期の予防接種の実施に当たっての留意点等について（依頼）」並びに「季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症に係る定期の予防接種について（周知依頼）」 ・汎用調査（EMIS医療機関基本情報調査）実施に向けた事前疎通確認について（依頼） ・令和８年度国民保護救護班養成研修に係る受講者の募集について ・日本医師会「新興感染症対策研修支援事業」及び「新興感染症のまん延に備えた医療提供体制調整支援事業」について（再周知） ・令和８年度地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示（１回目）について ・「小児慢性特定疾病指定医の指定について」及び「小児慢性特定疾病医療支援の給付に係る公費負担者番号及び受給者番号の設定について」の一部改正について ・令和８年台風第25号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和８年台風第25号に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和８年台風第25号に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その２） ・令和８年熊本地震に伴い避難先市町村の地域密着型（介護予防）サービス等を利用する場合の手続について（その２）
10月２日	・「ファビハルタカプセル200mg」及び「エンハーツ点滴静注用100mg」等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・公知申請に係る事前評価が終了し，医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・「令和８年度環境省石綿読影の精度に係る調査読影講習会」のご案内 ・令和８年度厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会（第２回）のご案内について

送付日	文　書　名
10月２日	・令和８年度医療機関機能・病床機能報告，外来機能報告の実施等について ・「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」における申請期限の延長について（周知依頼） ・疑義解釈資料の送付について（その13） ・2026年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について ・ミルベツキシマブソラブタンシン（遺伝子組換え）製剤の使用に当たっての留意事項について ・トボラフェニブ製剤の使用に当たっての留意事項について ・「ONLINEホテル予約サービス（日本医師会会員特別割引）」新規提携ホテルの優待価格利用開始について ・日本医学会「第169回日本医学会シンポジウム」ご案内の送付について ・「使用上の注意」の改訂について ・中東情勢を踏まえた医療用手袋の一般販売移行について（周知依頼） ・令和８年度全国学校保健・安全研究大会の開催に係る参加申込期間の延長について（通知）
10月６日	・県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」への協力について（依頼） ・各がん検診実施機関等登録名簿について（送付） ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて ・令和８年度厚生労働省委託事業「カスタマーハラスメント対策企業マニュアルの改訂及び業種別カスタマーハラスメント対策の取組支援事業」における「医療従事者向けアンケート調査」について（協力方依頼） ・電子書籍配信サービス「日医Lib」終了のお知らせ ・防災推進国民大会2026の開催について ・医療機関における医療機器のサイバーセキュリティ確保のための手引書の改定について ・医療用物資の国備蓄品の売却について ・「予防接種法第５条第１項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について ・令和８年10月以降の電子処方箋の導入補助について ・令和８年度医療機関機能・病床機能報告及び外来機能報告の実施等に係る取り扱いについて【報告期間の変更（延期）】 ・医療法施行規則の規定に基づく厚生労働省告示の改正及び外来機能報告等に関するガイドラインの改正について ・Ａ型肝炎ウイルス及びＥ型肝炎ウイルスによる感染症・食中毒の予防について ・今冬の急性呼吸器感染症（ARI）への総合対策の推進について ・臓器のあっせんに伴う「クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い」の取扱いについて ・令和８年８月千葉豪雨の被災に伴う保険診療関係等の特例措置の期間について ・令和８年台風第18号に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書の提示等について ・令和８年台風第18号に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について

送付日	文　書　名
10月６日	・令和８年台風第18号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和８年台風第18号に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和８年台風第18号に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和８年台風第18号に伴う災害に係る災害救助法の適用について ・令和８年台風第25号に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その３） ・令和８年台風第25号に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その４）
10月13日	・「医療法施行規則第三十条の三十三の六第一項の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法等の一部を改正する告示」の公布等について（通知） ・外来機能報告等に関するガイドラインの改正について（通知） ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・同一労働同一賃金ガイドライン等の改正について（周知依頼） ・電子的診療情報連携体制整備加算における地域医療情報連携ネットワークへの影響調査について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第86回報告書の公表について ・「令和７年度有料老人ホームを対象とした指導状況等のフォローアップ調査（第17回）」結果について（情報提供） ・医薬品，医療機器等の品質，有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の公布について ・「使用上の注意」の改訂について ・令和８年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会の実施について ・「輸血療法実践ガイド」の再周知について（依頼） ・地域フォーミュラリの医療関係者を対象とした説明会について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・産業連関構造調査（医療業・社会福祉事業等投入調査）の協力依頼について ・抗PCSK9抗体製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・令和８年度死体検案研修会（基礎）の開催について ・令和８年度死体検案研修会（上級）の開催について ・「医療提供体制の確保に関する基本方針」及び「医療計画について」の一部改正について（地域医療構想関係） ・「第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーの導入意向等に関するアンケート」について（周知依頼） ・「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A」の更新について ・母体保護法施行規則の一部を改正する内閣府令の公布について

送付日	文　書　名
10月21日	・医療事故情報収集等事業第86回報告書の公表について（通知） ・Ａ型肝炎及びＥ型肝炎発生届受理時の検体の確保等について ・県民が安心して暮らせるための四師会協議会医療・介護人材の育成・確保対策ワーキンググループ第７回在宅ノウハウ連携研修「在宅医療はワンチームで～心疾患（心不全）～」オンデマンド配信について（ご案内） ・「アルコール関連問題啓発ポスター」の送付について ・令和８年度最低賃金額の改定等に関する周知・広報の実施等について（協力依頼） ・経済産業省による令和７年度補正予算省エネ・非化石転換補助金の４次公募期間について（情報提供） ・がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正について ・「AMR対策臨床セミナー『抗微生物薬適正使用の手引き第四版』解説編①の開催について（ご案内） ・令和８年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーの販売開始について（周知依頼） ・「使用上の注意」の改訂について ・不正アクセスによる漏えい等の事案を踏まえた対応について（内閣官房国家サイバー統括室からの依頼事項） ・「医療情報化推進方針」の公布について ・令和８年度「津波防災の日」について ・日本医師会サイバーセキュリティ支援制度悪質な訪問業者の注意喚起チラシについて（周知依頼） ・令和８年度医療機関機能・病床機能報告及び外来機能報告の開始について ・抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について ・特定地域サービス及び特定地域居宅サービス等事業の第10期介護保険事業（支援）計画への位置付け等について（情報提供） ・日医非会員の医師資格証発行手数料の改定およびICカード発行区分の追加のお知らせ（再周知） ・「化学物質による健康障害防止のための濃度の基準の適用等に関する技術上の指針の一部を改正する件」について ・令和８年熊本地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その５） ・OTC類似薬の保険給付の在り方の見直しについて
10月23日	・乾燥ヘモフィルスｂ型ワクチン（販売名：アクトヒブ）販売停止に係る対応について ・高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫作業従事者の発熱時の診療対応について（依頼） ・令和８年度宮崎県保健指導実施者経験者研修会の開催について（通知） ・日本看護学校協議会「看護師を育てる看護学校を守り，地域医療を支えるための団体署名」について（協力依頼） ・令和８年度医療機関機能・病床機能報告「確認・記入要領」に関する「改訂履歴」及び「FAQ」について（情報提供） ・医療安全推進週間（11月22日～11月28日）について

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境改善支援センターをご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい！
- 育児・介護中の休み方、働き方は？
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい！
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター
公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜　午前10時から午後4時まで
TEL.0985-20-1211
FAX.0985-27-6550　E-mail　iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では，会員の皆様から随筆，旅行記，ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内
写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）
写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理，思い出話など
字数：800字程度
写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（２枚程）
※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど
字数：800字以内
写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■その他

・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。
■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。
■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】ご投稿は主にメールで受け付けております。
宮崎県医師会広報委員会　日州医事担当（小川）
Tel 0985-22-5118　Fax 0985-27-6550　E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとがき



小児科を継承開業した後，コロナ禍による外出自粛や発熱外来，その他物価高やナフサ高騰などを経験してきました。社会情勢が日常診療にもたらす影響について，勤務医時代以上に身にしみて感じています。

どのような時代や状況になろうとも，子どもたちの笑顔は素晴らしい。小児科医としてさまざまな子どもたちと関わり合う中で，強くそう思います。その子どもたちの数そのものが減少している少子化は重要な社会問題です。内閣府によれば，80年代以降の少子化の要因として非婚化・晩婚化・晩産化が挙げられ，「多様な楽しみや単身生活の便利さが増大するほか，結婚や家族に対する価値観が変化していることなども，未婚化・晩婚化につながっていると考えられる」とされています。

80年代以降を思い返せば，さまざまな娯楽などを国内の媒体は提案してきました。しかし過度の暴力や性，その他一過性の注目を目的とした作品は似通った印象で，私はあまり興味を惹かれません。一方CNNによれば，26年野生動物写真家コンテストで，死んだ子ゾウを運ぶ母ゾウの姿を捉えた写真が大賞に選ばれました。普遍的なテーマを扱い感情を揺さぶられる写真として，私も感銘を受けました。親子の愛情や子育てのすばらしさなど，人間の普遍的な喜びや感情によりフォーカスした作品が日本からも発信されることを，そして願わくは優れた作品が少子化を含めた社会問題に好影響をもたらすことを期待しています。　（池田）

＊　　＊　　＊

編集長になって半年が過ぎました。医師会に入会してまだ１年３か月ですが，会合などで「日州醫事を読んでいるよ」と声をかけていただくことがあり，心から嬉しく感じています。一方，「偉くなったね」と全く見当違いのお言葉をいただくことも（笑）。県医師会の雑誌はSNSと違い，発信する言葉にも責任が伴います。身が引き締まる思いですが，感想を聞かせていただくと，つい顔がほころんでしまいます。 これからも皆さんとの温かいつながりを感じながら，楽しく編集に携わっていきたいと思います。　（永野）

＊　　＊　　＊

10月24日に山梨大学（旧山梨医科大学）の同級生の集まりがあり，上京しました。会合は夜だったので時間があり，日中は上越新幹線で越後湯沢駅まで行き名物のへぎそばを食べ，「ぽんしゅ館」では新潟の地酒を試飲できる場がありいくつかの銘柄を楽しみました。いわゆる「アラ還」の年齢となる同級生10人が集まり，近況報告や昔話に花が咲きました。私は同級生では母校から最も遠くにいるので彼らに会うことがとても励みになりました。１年後の再会を期して閉会となりました。　（高橋）

＊　　＊　　＊

宮崎市総合発達支援センターの記事を読み，子どもの成長に不安を抱える家族が安心して相談できる環境づくりの重要性をあらためて感じました。また，診療報酬算定外でも必要な支援を続ける姿勢は，地域医療を支える大きな力です。厳しい医療経済の中でも，このような献身的な取組みが正当に評価され，早期に診療報酬として認められることを望みます。　（竹尾）

先日，友人と高知へ旅行に行きました。直前の試験勉強に追われていた生活から一転して，豊かな自然に囲まれとても幸せな旅でした。一番印象的だったのは，中学生のころに高知出身の先生から何度も話を聞いていた仁淀川の清流を，10年越しに見られたことです。現地で聞く土佐弁も，先生のことが思い出されてどこか懐かしい感じがしました。今回は栗や鮎など秋の味覚を食べ尽くす旅になりましたが，また季節が変わるたびに何度でも通いたいと思う場所です。　（安丸）

＊　　＊　　＊

８，９月の共用試験を終え，11月中旬までの長期休暇で東京や福岡の中高の友人に会ってきました。仕事や結婚の話題が増え，社会人として歩む友人に少し焦りも感じましたが，今は学生という時間を全力で楽しもうと思っています。休み明けからは，いよいよ臨床実習が始まります。念願だった実習に臨める嬉しさを胸に，一生懸命取り組んでまいります。　（日髙）

＊　　＊　　＊

来年，宮崎で開催される国民スポーツ大会（国スポ）に向けて，スポーツドクターとして10月11日～13日の３日間，青森国スポの救護体制を視察してきました。国スポの競技運営は開催地の自治体が担うため，自治体の考え方や人員体制によって，救護体制にもさまざまな違いがあることを実感しました。今回の視察で得られた知見を今後の体制づくりに生かし，来年の宮崎国スポで選手や関係者が安心して競技に臨めるような救護体制を整備できるよう，裏方として尽力していきたいと思います。　（河原）

今月のトピックス

日州医談　認知症疾患医療センターの取組みと利用について

認知症が疑われる患者さん，どのタイミングで専門医に紹介すればよいのでしょうか。県内６か所の認知症疾患医療センターの役割や利用方法について，日頃の診療に役立つ情報がQ&A形式でわかりやすく紹介されています。　4ページ

日州医談　警察活動協力医部会の発足について

警察による検視や死体調査に協力する医師が不足しています。その担い手をどのように確保し，育てていけばよいのでしょうか。新たに発足した宮崎県警察活動協力医師会の設立の背景や役割，今後の課題について紹介されています。　6ページ

随　　筆　なぜ，皮膚科を選んだ？

もともとは内科志望だった先生が，なぜ皮膚科医になったのでしょうか。学生時代の思い出，恩師との出会い，そして思いがけない人生の転機。ユーモアあふれる語り口に引き込まれながら，医師人生の面白さを感じる一編です。　8ページ

随　　筆　登山と筋疲労

80代半ばにして，久住の山々を３日間で28km歩いた筆者。連日の登山では感じなかった脚の重さが，数日後に現れるのはなぜでしょうか。下山後のむくみも含め，登山の生理学を考察されています。　10ページ

メディアの目　AIにどこまで任せるか

AIは便利ですが，情報そのものを生み出せるのでしょうか。取材相手に何度も会い，信頼関係を築くことで初めて得られる情報があります。報道の現場から，AIには任せられない人間の役割を問いかけます。　22ページ

国公立病院だより　宮崎市総合発達支援センターおおぞら

発達障害の診断を待つ期間を，どうすれば有意義に過ごせるのでしょうか。新たな外来相談チームや5歳児健診，親子関係を支えるPCITなどの取組みを紹介。子どもの「やってできた」を増やす支援を目指しています。　34ページ

診療メモ　肝臓疾患の最近のトピックス

脂肪肝炎の治療が新しい時代を迎えています。肥満症治療薬として知られるセマグルチドが，MASHの治療にも使えるようになりました。その効果はどの程度なのでしょうか。適応や投与上の注意点も含め，最新の治療動向がわかりやすく解説されています。　68ページ

（文責：下窪　　徹）

日　州　医　事　第927号（令和８年11月号）（毎月１回10日発行）
発行人　公益社団法人　宮　崎　県　医　師　会　　会長　河野　雅行
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地　TEL 0985-22-5118㈹・FAX 27-6550
https://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp
編　集　宮崎県医師会広報委員会
委　員　長　永野　元章
副委員長　下窪　　徹，髙村　一紘
委　　員　高橋　　聡，川畑　武彦，竹尾　輝久，
池田　俊郎，持田　幸代
学生委員　野間　貫太，安丸　佳苗，冨田あさひ，日髙　想大
担当副会長　金丸　吉昌
担当理事　田畑　直人，髙木　純一，河原　勝博，児玉　由紀
事務局　学術広報課　小川　道隆，久永　夏樹
印刷所　有限会社　中川印刷　落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定　価　350円（但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）